

### ◆中学1年生(12歳)の身長と体重(平成21年度)◆

女子

身長 151.9cm  
体重 43.5kg



男子

身長 152.3cm  
体重 43.7kg



#### 30年前(昭和54年度)と比べて

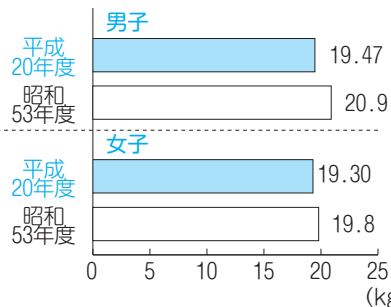
身長 +2.1cm                      +3.0cm  
体重 +1.6kg                      +2.7kg

資料：「埼玉県学校保健統計調査報告書」県統計課

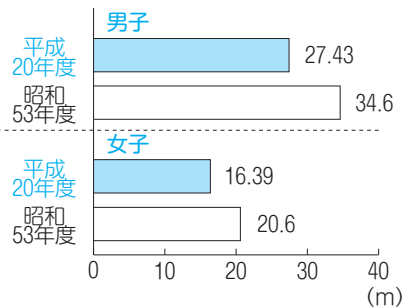
平成21年度の中学生(12歳)の身長と体重を親の世代に当たる30年前の昭和54年度と比べると、男女とも増加しており、世代的な体格の成長がみとれます。

### ◆小学6年生の運動能力(平成20年度)◆

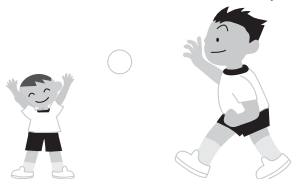
握力



ボール投げ



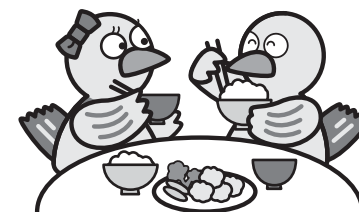
資料：「体力向上推進事業報告書」県教育局保健体育課



## IV くらしと生活環境

項目	データ	全国順位
(家計)2人以上の世帯・勤労者世帯		
実収入	611,708円/月	7
消費支出	363,409円/月	5
貯蓄現在高	11,242千円	28
(生活環境)		
持ち家に住む一般世帯割合	66.3%	28
共同住宅に住む一般世帯割合	40.2%	10
着工新設住宅戸数	71,325戸	5
通勤・通学時間	42分	2
教養娯楽費(2人以上の世帯・勤労者世帯)	40,246円/月	7
国内観光旅行の行動者率	56.1%	3
出国者数	960,840人	6
一般旅券発行数	234,531件	5
図書館数	157館	2
都市公園数	4,448か所	8
道路実延長	46,491.4km	5
水道普及率	99.7%	7
1人1日当たりごみ排出量	962g	29
使用電力量・電灯	14,613百万kWh	5
(安全)		
出火件数	2,632件	5
救急自動車救急出場件数	261,364件	5
交通事故発生件数	40,890件	6
運転免許保有者数	4,487,066人	5
保有自動車数	3,909,132両	4
刑法犯認知件数	122,108件	4
刑法犯検挙率	25.5%	45

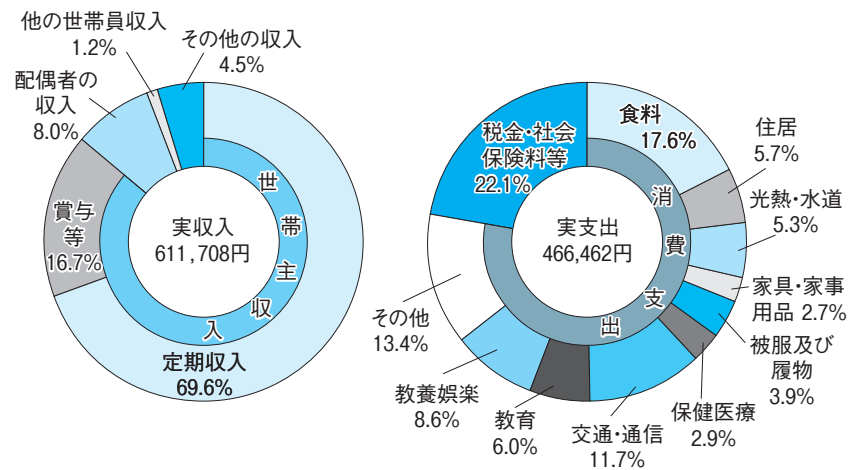
～本編より抜粋～



# 31 家計

# 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・平成20年平均)

単 位	*1 実収入		*2 世帯主の配偶者の収入		*3 消費支出		*4 貯蓄現在高	
	円	順位	円	順位	円	順位	千円	順位
全 国	534 235		55 742		324 929		12 037	
北海道	501 952	32	35 911	44	305 607	38	9 180	40
青森県	487 110	36	40 471	39	291 752	44	8 063	44
岩手県	529 822	26	56 080	23	306 494	37	10 051	36
宮城県	448 790	43	43 722	36	317 734	29	9 289	39
秋田県	471 715	38	53 397	27	319 034	27	8 937	42
山形県	626 673	4	96 588	1	365 376	4	10 650	32
福島県	633 135	3	83 808	5	342 561	12	10 604	33
茨城県	551 172	22	58 112	21	324 924	23	13 092	12
栃木県	610 724	8	47 348	34	373 941	3	12 735	16
群馬県	470 359	39	62 776	15	312 257	33	12 311	22
埼玉県	611 708	7	48 784	32	363 409	5	11 242	28
千葉県	515 980	31	36 055	43	315 041	32	12 897	14
東京都	558 879	18	40 329	40	335 598	20	14 506	6
神奈川県	651 399	1	55 063	24	340 501	14	12 640	18
新潟県	559 318	17	88 844	4	344 827	11	12 672	17
富山県	616 347	6	74 270	9	396 903	1	12 312	21
石川県	616 864	5	79 256	6	342 175	13	12 886	15
福井県	562 723	15	91 362	3	337 713	17	16 135	1
山梨県	554 466	20	78 621	7	338 047	16	10 290	35
長野県	543 113	24	73 516	10	345 946	9	12 269	23
岐阜県	559 331	16	61 915	16	354 355	7	14 481	7
静岡県	551 631	21	49 564	31	336 810	18	12 630	19
愛知県	518 929	30	36 838	42	320 680	26	14 697	4
三重県	565 299	14	68 372	13	323 453	24	15 436	3
滋賀県	532 841	25	43 512	37	336 475	19	13 753	10
京都府	529 715	27	46 245	35	312 060	34	13 914	9
大阪府	495 448	33	57 647	22	301 982	40	11 140	29
兵庫県	492 672	34	26 206	46	295 290	43	12 368	20
奈良県	585 388	10	16 286	47	358 059	6	15 478	2
和歌山県	584 800	11	51 417	28	322 996	25	12 959	13
鳥取県	450 130	42	51 147	29	283 792	46	13 566	11
島根県	569 517	13	96 173	2	315 682	31	12 228	24
岡山県	476 913	37	42 502	38	307 146	36	13 989	8
広島県	556 936	19	63 848	14	335 242	21	11 457	27
山口県	594 010	9	70 515	11	353 275	8	10 430	34
徳島県	526 644	28	53 758	25	344 898	10	11 945	26
香川県	640 039	2	77 806	8	389 781	2	14 607	5
愛媛県	487 942	35	50 835	30	286 194	45	10 958	31
高知県	548 462	23	61 113	17	339 429	15	12 228	24
福岡県	445 227	44	28 547	45	316 527	30	9 940	37
佐賀県	465 991	40	69 423	12	303 588	39	10 983	30
長崎県	436 949	46	38 178	41	296 622	42	8 805	43
熊本県	459 104	41	61 087	18	308 050	35	9 336	38
大分県	582 633	12	47 518	33	326 678	22	9 092	41
宮崎県	444 556	45	59 802	20	300 788	41	7 702	46
鹿児島県	524 288	29	53 693	26	317 789	28	7 890	45
沖縄県	396 534	47	60 598	19	271 288	47	4 246	47



資料：「家計調査年報」総務省統計局

## 実収入が前年より増加、消費支出は減少

「家計調査年報」によると、平成20年のさいたま市の2人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入(1か月間・年平均)は、前年より5,304円増加して611,708円でした。そのうち世帯主の収入は527,971円で、実収入全体の86.3%を占めています。また、世帯主の配偶者の収入は、前年(21,266円)の2倍以上となる48,784円で、全体の8.0%(前年比4.5ポイント増)を占めています。

実支出は466,462円で、そのうち生活費に当たる消費支出は、前年より2,745円減少して363,409円でした。消費支出のうち食料費は81,961円で、エンゲル係数(消費支出に占める食料費の割合)は22.6%でした。

## 1世帯当たり貯蓄現在高は1,124万円

「全国消費実態調査報告」によると、平成16年の2人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり貯蓄現在高は1,124万円でした。

※表\*1~\*3は、各都道府県庁所在市の数値です。

※表\*1~\*4及びグラフは、2人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値です。

## ~お国柄が表れる食生活~

1世帯当たり年間の「購入量」又は「支出金額」が全国で上位の食料品には、地域の特徴が表れています。

平成18~20年平均をみると、都道府県庁所在市の中でさいたま市が全国第1位だったのは、レタス、スパゲッティ、チーズ、いちご、紅茶などでした。

資料：「家計調査」総務省統計局



資料出所  
\*1~\*3 「家計調査年報」総務省統計局HP  
\*4 「全国消費実態調査報告」総務省統計局

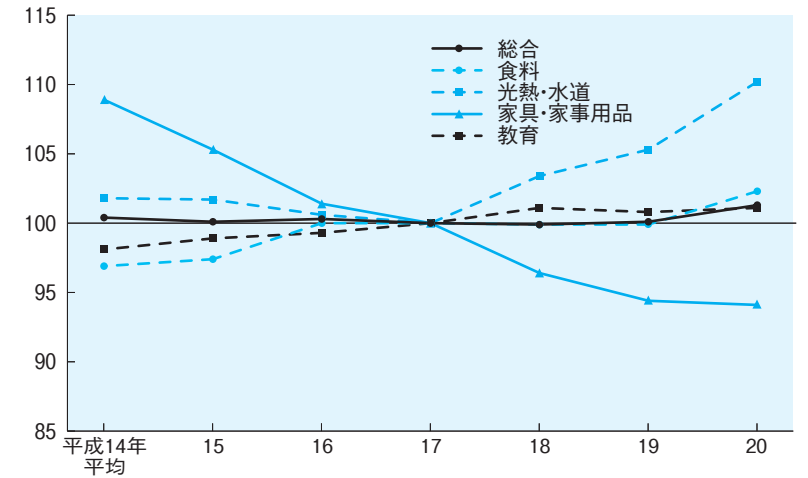
調査時点又は期間  
平成20年平均  
調査周期  
毎年  
平成16年11月末  
5年

# 32 物価

単 位	*1 消費者物価指数・総合 (平成17年=100)		*2 消費者物価地域差指数・総合 (持家の帰属家賃を除く) (全国平均=100)		*3 消費者物価地域差指数 ・食料(全国平均=100)		*4 用途別平均価格 ・住宅地	
	—	順位	—	順位	—	順位	円/m	順位
全 国	101.7		100.0		100.0		...	
北海道	102.1	11	103.4	12	100.7	30	20 500	46
青森県	102.3	5	100.4	32	97.9	42	22 900	45
岩手県	102.3	5	102.1	20	102.3	18	28 800	36
宮城県	101.6	23	99.5	40	96.9	45	33 400	29
秋田県	100.4	47	97.5	45	93.8	47	19 200	47
山形県	101.9	15	103.1	14	102.4	17	23 000	44
福島県	102.4	3	101.1	28	102.2	19	23 200	43
茨城県	101.8	17	101.1	28	98.7	40	38 400	23
栃木県	102.1	11	102.7	15	100.7	30	43 000	17
群馬県	100.7	44	98.8	44	102.0	23	36 400	26
埼玉県	101.3	26	104.7	7	104.7	10	115 200	5
千葉県	101.3	26	102.0	21	100.9	28	78 800	8
東京都	110.2	31	110.4	1	107.9	2	323 300	1
神奈川県	102.0	14	110.2	2	108.2	1	184 600	2
新潟県	101.0	37	102.4	18	99.9	36	30 800	33
富山県	101.1	34	101.6	24	102.1	22	35 200	27
石川県	102.2	8	104.6	8	104.5	11	48 000	14
福井県	101.5	24	101.9	22	104.8	8	37 300	24
山梨県	102.7	1	103.3	13	102.2	19	31 500	31
長野県	101.7	19	101.0	30	96.9	45	29 000	35
岐阜県	102.1	11	100.2	34	100.5	32	39 100	22
静岡県	101.3	26	105.5	6	103.8	12	75 700	9
愛知県	101.7	19	104.6	8	105.3	6	102 600	6
三重県	101.9	15	101.5	26	101.6	25	36 800	25
滋賀県	101.5	24	101.6	24	100.1	35	54 700	12
京都府	100.9	40	105.6	4	107.0	3	118 100	4
大阪府	100.7	44	107.0	3	105.4	5	157 300	3
兵庫県	100.9	40	103.8	10	104.9	7	101 500	7
奈良県	101.3	26	101.2	27	101.4	26	62 400	10
和歌山県	102.6	2	103.6	11	104.8	8	42 700	18
鳥取県	101.2	31	100.4	32	98.3	41	27 100	40
島根県	102.2	8	102.3	19	102.7	15	25 700	41
岡山県	102.4	3	105.6	4	106.9	4	34 600	28
広島県	102.2	8	102.5	17	101.9	24	57 700	11
山口県	100.7	44	101.8	23	102.5	16	31 100	32
徳島県	101.3	26	100.2	34	100.8	29	41 700	21
香川県	101.7	19	99.4	42	97.1	44	41 800	20
愛媛県	101.8	17	99.5	40	99.0	38	44 100	15
高知県	101.1	34	99.6	39	100.4	33	43 200	16
福岡県	101.0	37	100.1	36	99.6	37	48 200	13
佐賀県	100.8	43	99.0	43	97.7	43	23 700	42
長崎県	100.9	40	102.6	16	103.5	13	27 800	37
熊本県	101.1	34	99.7	38	100.4	33	28 700	37
大分県	101.7	19	100.1	36	103.0	14	29 600	34
宮崎県	101.2	31	96.5	47	98.9	39	27 900	38
鹿児島県	101.0	37	100.9	31	102.2	19	32 500	30
沖縄県	102.3	5	97.3	46	101.4	26	42 700	18

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1 「消費者物価指数年報」総務省統計局 平成20年平均 毎年  
 \*2,3 「消費者物価地域差指数の概況」総務省統計局HP 平成20年平均 毎年  
 \*4 「都道府県地価調査」国土交通省HP 平成21年7月1日 毎年

## 主な消費者物価指数(さいたま市・平成17年=100)



資料：「消費者物価指数年報」総務省統計局

### 消費者物価指数(総合)が前年より1.2%上昇

「消費者物価指数年報」によると、平成20年平均のさいたま市の消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が前年より1.2%上昇して101.3でした。

「消費者物価地域差指数の概況」によると、平成20年平均のさいたま市の消費者物価地域差指数の総合指数(持家の帰属家賃を除く)は、全国を100とすると104.7(東京都区部を100とすると94.9)でした。また、食料の指数は全国を100とすると104.7(東京都区部を100とすると97.0)でした。

### 住宅地の平均価格が3年ぶりに下落

「都道府県地価調査」によると、平成21年の住宅地の1㎡当たり平均価格は、前年より7,300円下落し、115,200円で全国第5位でした。

※表\*1~3は、各都道府県庁所在市の数値です。

### ～小売物価統計調査ってどんな調査?～

全国約2万8千店舗(事業所)及び約2万5千世帯の方々を対象に、消費生活上重要な商品の小売価格、サービスの料金及び家賃を昭和25年から毎月調査しています。調査の結果は、月々の価格の変化を明らかにするほか、物価水準の変動を測定するための消費者物価指数など、消費生活に関する基礎資料の作成に利用されています。



おしえてコバトン

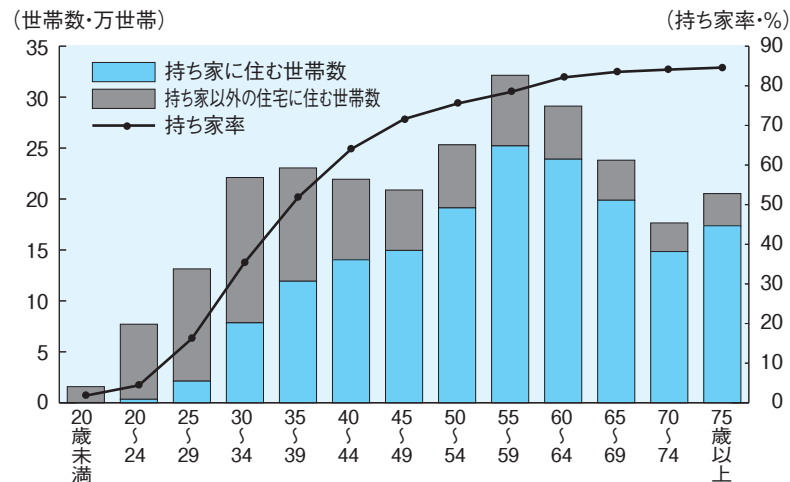
# 33 住宅

# 世帯主の年代・住宅の所有別世帯数と持ち家率(平成17年10月1日)

単 位	*1 持ち家に住む 一般世帯割合		*2 共同住宅に住む 一般世帯割合		*3 1世帯当たり 延べ面積(一般世帯)		*4 着工新設住宅戸数	
	%	順位	%	順位	m	順位	戸	順位
全 国	62.1		39.5		91.8		1 093 485	
北海道	56.0	43	40.5	9	86.5	39	39 014	9
青森県	70.5	15	19.4	42	118.4	12	6 457	37
岩手県	70.7	14	20.8	37	119.6	10	6 980	35
宮城県	61.5	40	36.6	12	99.4	28	15 375	19
秋田県	78.0	2	15.4	47	134.8	3	5 275	42
山形県	75.4	4	19.2	43	133.7	4	6 156	40
福島県	68.5	24	23.6	31	112.4	15	11 853	26
茨城県	70.7	13	22.8	32	104.6	23	24 684	11
栃木県	69.0	22	24.2	28	104.7	22	18 551	14
群馬県	70.4	17	21.9	33	104.2	24	16 613	16
埼玉県	66.3	28	40.2	10	84.5	42	71 325	5
千葉県	65.5	33	41.6	8	87.2	38	62 745	6
東京都	47.4	47	66.1	1	64.2	47	157 169	1
神奈川県	58.5	42	53.5	2	75.2	45	90 123	2
新潟県	74.5	6	20.7	38	128.0	5	15 714	17
富山県	79.1	1	18.4	45	146.3	1	6 992	34
石川県	69.7	21	26.9	19	125.3	6	8 331	31
福井県	75.8	3	19.0	44	138.5	2	4 714	43
山梨県	68.7	23	24.0	29	107.7	19	5 764	41
長野県	71.0	12	20.5	39	120.7	9	15 297	20
岐阜県	73.4	8	21.7	34	119.4	11	15 637	18
静岡県	65.7	32	30.5	14	100.0	27	36 210	10
愛知県	59.7	41	43.6	7	93.7	34	80 030	3
三重県	74.9	5	20.0	41	111.1	16	18 016	15
滋賀県	72.5	10	26.9	19	116.8	13	14 669	21
京都府	62.4	38	37.9	11	84.5	43	18 652	13
大阪府	54.3	45	52.3	3	73.0	46	76 328	4
兵庫県	64.8	35	44.6	6	92.6	36	41 450	8
奈良県	72.6	9	27.2	18	109.0	18	8 654	30
和歌山県	74.1	7	18.2	46	104.0	25	6 176	39
鳥取県	70.4	16	21.7	34	121.2	8	2 954	47
島根県	72.4	11	20.4	40	124.4	7	3 345	46
岡山県	66.8	26	25.8	21	105.6	21	12 612	22
広島県	62.1	39	36.0	13	94.4	33	18 955	12
山口県	67.0	25	25.7	22	101.2	26	9 416	29
徳島県	70.1	19	24.0	29	106.7	20	4 068	45
香川県	70.2	18	24.9	25	110.3	17	7 647	33
愛媛県	66.0	30	24.8	26	97.1	31	10 441	27
高知県	66.0	31	25.1	23	92.3	37	4 284	44
福岡県	54.5	44	46.8	5	86.0	41	47 139	7
佐賀県	70.1	20	21.7	34	114.9	14	6 223	38
長崎県	65.1	34	27.7	17	95.5	32	6 942	36
熊本県	64.7	36	28.3	16	99.3	29	12 542	23
大分県	64.1	37	30.3	15	98.1	30	9 550	28
宮崎県	66.5	27	24.6	27	93.0	35	7 811	32
鹿児島県	66.0	29	25.1	23	86.1	40	12 302	24
沖縄県	51.8	46	50.8	4	75.7	44	12 300	25

資料出所  
\*1~3 「国勢調査」総務省統計局  
\*4 「建築着工統計調査」国土交通省HP

調査時点又は期間  
平成17年10月1日  
調査周期  
5年  
毎年



資料：「国勢調査」総務省統計局

## 全国平均を上回る共同住宅に住む世帯割合

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の持ち家に住んでいる一般世帯の割合(持ち家率)は、前回調査より1.7ポイント上昇して66.3%でした。

共同住宅に住む世帯の割合は、全国的に大都市を中心に高い傾向にありますが、本県も全国平均(39.5%)を上回る40.2%で、全国第10位でした。

1世帯当たりの住宅の延べ面積は、前回調査より0.9㎡増加して84.5㎡でした。住宅の所有関係別にみると、持ち家に住む世帯は104.8㎡、民営の借家に住む世帯は42.2㎡でした。

## 着工新設住宅戸数は、前年比10.3%の増加

「建築着工統計調査」によると、平成20年の着工新設住宅戸数は、前年より6,658戸(10.3%)増加して71,325戸でした。

※表\*1~3、グラフ及び文中の世帯は「住宅に住む一般世帯」のことです。

※表\*1,3の順位は、総務省統計局公表の順位です。

### ～近年の住宅事情～

近年、全国的に増加が著しい共同住宅ですが、平成20年10月1日現在、本県の共同住宅率(住宅全体に占める共同住宅の割合)は42.6%で一戸建率55.8%をやや上回りました。共同住宅率が最も高かったのは、東京都で69.6%でした。

資料：「平成20年住宅・土地統計調査(速報集計)」総務省統計局

**共同住宅率**  
単位：%、( )は分布数

- 31.0以上 (15)
- 26.0～30.9(11)
- 21.0～25.9(13)
- 20.9以下 (8)

おしえてコバトン

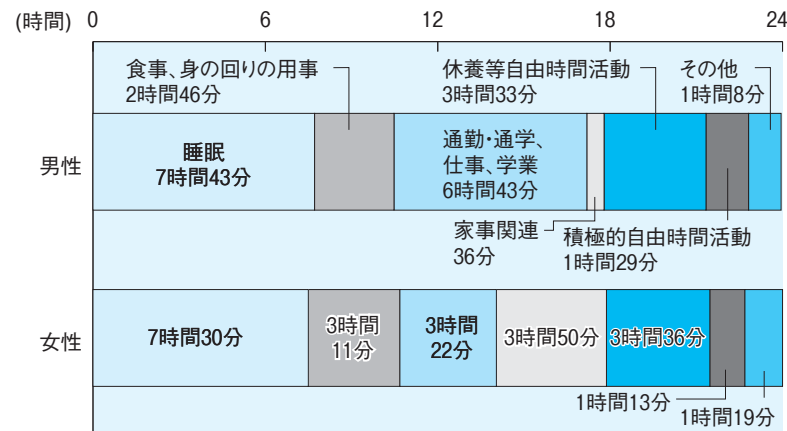
# 34 生活時間

単 位	*1		*2		*3		*4	
	1次活動		2次活動		3次活動		通勤・通学	
	時間、分	順位	時間、分	順位	時間、分	順位	時間、分	順位
全 国	10.37		7.00		6.23		0.31	
北海道	10.38	25	6.27	47	6.56	1	0.23	36
青森県	10.52	3	7.04	18	6.04	46	0.22	38
岩手県	10.50	5	7.01	20	6.09	42	0.24	28
宮城県	10.47	9	6.50	39	6.23	15	0.27	16
秋田県	11.08	1	6.32	46	6.20	25	0.22	38
山形県	10.52	3	6.53	33	6.15	36	0.21	45
福島県	10.45	11	6.56	31	6.18	32	0.25	22
茨城県	10.43	16	6.58	28	6.20	25	0.31	9
栃木県	10.40	20	6.58	28	6.22	20	0.27	16
群馬県	10.44	13	7.11	7	6.05	45	0.27	16
埼玉県	10.35	30	7.16	3	6.09	42	0.42	2
千葉県	10.30	42	7.16	3	6.14	37	0.43	1
東京都	10.39	22	7.01	20	6.19	28	0.38	4
神奈川県	10.25	46	7.17	1	6.18	32	0.42	2
新潟県	10.44	13	6.48	41	6.29	7	0.24	28
富山県	10.30	42	7.05	16	6.25	11	0.25	22
石川県	10.30	42	7.17	1	6.13	40	0.25	22
福井県	10.43	16	7.15	5	6.02	47	0.23	36
山梨県	10.50	5	6.56	31	6.14	37	0.24	28
長野県	10.45	11	7.06	15	6.08	44	0.25	22
岐阜県	10.31	41	7.13	6	6.16	35	0.30	12
静岡県	10.36	27	7.02	19	6.22	20	0.27	16
愛知県	10.24	47	7.10	9	6.26	10	0.31	9
三重県	10.33	37	7.05	16	6.22	20	0.31	9
滋賀県	10.30	42	7.09	10	6.21	23	0.30	12
京都府	10.36	27	7.00	24	6.25	11	0.33	6
大阪府	10.39	22	6.45	42	6.37	4	0.33	6
兵庫県	10.34	32	6.53	33	6.34	6	0.32	8
奈良県	10.34	32	7.07	13	6.20	25	0.38	4
和歌山県	10.47	9	6.50	39	6.23	15	0.26	20
鳥取県	10.36	27	7.01	20	6.23	15	0.22	38
島根県	10.49	7	6.52	35	6.19	28	0.22	38
岡山県	10.34	32	7.07	13	6.19	28	0.26	20
広島県	10.39	22	7.09	10	6.12	41	0.29	14
山口県	10.34	32	6.59	27	6.27	8	0.24	28
徳島県	10.43	16	6.38	44	6.39	3	0.22	38
香川県	10.34	32	7.01	20	6.25	11	0.24	28
愛媛県	10.37	26	6.34	45	6.49	2	0.20	47
高知県	10.55	2	6.42	43	6.23	15	0.21	45
福岡県	10.33	37	7.00	24	6.27	8	0.29	14
佐賀県	10.33	37	7.09	10	6.19	28	0.24	28
長崎県	10.33	37	6.51	36	6.35	5	0.25	22
熊本県	10.44	13	6.51	36	6.24	14	0.24	28
大分県	10.40	20	6.57	30	6.23	15	0.24	28
宮崎県	10.42	19	7.00	24	6.18	32	0.22	38
鹿児島県	10.48	8	6.51	36	6.21	23	0.22	38
沖縄県	10.35	30	7.11	7	6.14	37	0.25	22

資料出所 \*1~4 「社会生活基本調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期  
平成18年10月 5年

# 1日の生活時間(平成18年10月)



資料：「社会生活基本調査」総務省統計局

## 全国第2位の通勤・通学時間

「社会生活基本調査」によると、平成18年の10歳以上の人の1日の生活時間は、前回調査(平成13年)より、1次活動時間が3分増加して10時間35分でした。2次活動時間は10分増加して7時間16分、3次活動時間は13分減少して6時間9分でした。

2次活動時間は、男性が7時間20分、女性が7時間12分でほとんど変わりませんが、そのうち家事関連時間は、男性が36分(前回調査30分)、女性が3時間50分(同3時間47分)と、前回調査に引き続き大きな差があります。一方、通勤・通学、仕事、学業を合計した時間は、男性6時間43分、女性3時間22分と、男性が女性の約2倍でした。

なお、2次活動のうちの通勤・通学時間は、前回調査と同じ42分で、全国第2位でした。

- 1次活動 睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2次活動 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動 1次、2次活動以外で各人の自由に使える時間における活動

※表\*1~4、グラフ及び文中の生活時間は、週全体の1人1日当たりの総平均(該当する活動をしなかった者を含む全員(10歳以上)についての平均)時間です。

## ~足りていますか?睡眠時間~

本県の平均睡眠時間は7時間37分で、最も長い秋田県と山形県の8時間5分と比べると、28分も短くなっています。最も短いのは、神奈川県で7時間31分でした。

資料：「社会生活基本調査」総務省統計局





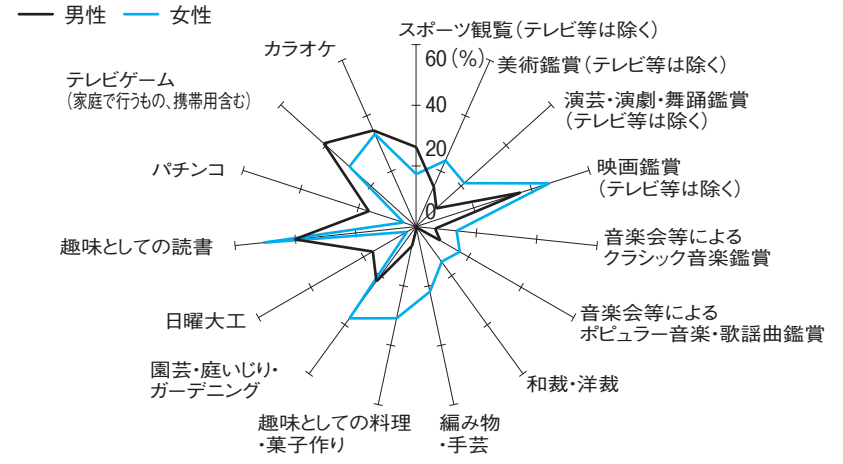
# 35 余暇

単 位	*1 趣味・娯楽の行動者率 (総数)		*2 CD・テープ・レコード などによる音楽鑑賞 の行動者率		*3 趣味としての読書 の行動者率		*4 教養娯楽費 (2人以上の世帯・ 勤労者世帯)	
	%	順位	%	順位	%	順位	円	順位
全 国	84.9		52.4		41.9		33 390	
北海道	84.8	13	50.8	15	40.9	10	29 672	33
青森県	76.0	47	44.7	36	32.4	47	27 230	44
岩手県	80.6	38	44.4	39	34.6	37	27 754	43
宮城県	84.8	13	51.1	13	40.4	11	28 414	40
秋田県	78.6	43	43.1	45	33.6	42	32 264	26
山形県	78.7	42	43.1	45	34.4	39	30 269	31
福島県	78.3	46	46.0	33	34.2	41	32 713	22
茨城県	82.1	28	50.0	19	37.1	28	37 023	11
栃木県	83.9	20	50.9	14	38.9	21	42 669	2
群馬県	84.7	15	50.8	15	39.5	19	29 186	34
埼玉県	87.3	5	56.3	3	45.4	4	40 246	7
千葉県	87.5	3	55.8	5	46.6	3	43 272	1
東京都	88.5	1	61.6	1	52.0	1	38 589	9
神奈川県	89.3	2	60.4	2	50.8	2	39 784	8
新潟県	80.5	39	44.7	36	36.2	31	38 295	10
富山県	82.8	25	44.7	36	36.9	29	34 263	19
石川県	85.7	9	48.9	21	37.3	24	32 739	21
福井県	84.3	16	47.9	24	36.0	34	28 414	40
山梨県	83.4	23	46.3	31	37.2	25	32 681	23
長野県	83.8	21	50.0	19	40.3	12	33 835	20
岐阜県	84.2	18	47.2	28	36.1	33	40 780	4
静岡県	84.2	18	51.5	11	39.9	16	31 364	29
愛知県	87.1	6	54.3	7	40.1	14	31 366	28
三重県	82.0	30	50.1	17	36.3	30	36 583	13
滋賀県	87.4	4	55.9	4	42.5	9	36 238	14
京都府	86.4	8	53.2	9	45.2	5	35 982	15
大阪府	85.7	9	53.4	8	42.8	7	30 399	30
兵庫県	85.6	12	53.0	10	42.8	7	36 782	12
奈良県	87.0	7	55.3	6	45.2	5	40 524	6
和歌山県	81.4	32	46.3	31	34.5	38	35 106	17
鳥取県	82.8	25	45.9	34	37.5	23	24 757	46
島根県	79.7	40	43.4	44	35.2	36	28 788	37
岡山県	83.0	24	47.7	26	39.2	20	32 123	27
広島県	85.7	9	50.1	17	40.2	13	34 296	18
山口県	83.7	22	46.9	30	39.7	17	35 894	16
徳島県	80.7	37	44.1	42	35.8	35	40 716	5
香川県	82.1	28	47.1	29	39.7	17	41 165	3
愛媛県	81.3	33	47.8	25	37.2	25	28 878	36
高知県	78.4	44	42.1	47	33.4	43	29 801	32
福岡県	84.3	16	51.2	12	40.1	14	32 303	25
佐賀県	81.0	34	44.3	40	32.8	45	26 070	45
長崎県	79.7	40	43.9	43	36.2	31	27 775	42
熊本県	80.8	36	45.2	35	34.3	40	28 890	35
大分県	81.0	34	44.3	40	32.6	46	28 500	39
宮崎県	81.9	31	47.7	26	37.7	22	28 626	38
鹿児島県	82.6	27	48.5	23	37.2	25	32 625	24
沖縄県	78.4	44	48.6	22	32.9	44	22 639	47

資料出所  
\*1~3 「社会生活基本調査」総務省統計局  
\*4 「家計調査年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間  
平成18年10月  
平成20年平均  
調査周期  
5年  
毎年

## 主な趣味・娯楽の行動者率(平成18年10月)



資料：「社会生活基本調査」総務省統計局

### 趣味・娯楽の行動者率は87.3%

「社会生活基本調査」によると、過去1年間に何らかの趣味・娯楽活動を行った人(10歳以上)は5,528千人で、行動者率は87.3%(男性86.9%、女性87.8%)でした。行動者率を種類別にみると、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が56.3%で最も高く、次いで「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(テレビからの録画は除く)」49.5%、「趣味としての読書」45.4%の順でした。

### 教養娯楽への支出は全国上位

「家計調査年報」によると、平成20年のさいたま市の2人以上の世帯のうち勤労者世帯の教養娯楽費(1か月間・年平均)は40,246円で、全国第7位でした。

※表\*4は、各都道府県庁所在市の数値です。

### ~6月の第1日曜日は、県民スポーツの日~

県では、平成16年3月に、6月の第1日曜日を「県民スポーツの日」と決めました。スポーツに対する県民の関心と理解を一層深めるため、県民スポーツの日に関連する様々な取組を実施しています。

平成21年度は、関係団体、市町村、県、学校及び総合型地域スポーツクラブで、「大会・講習会等の開催」を最多とする586の取組が行われ、571,445人が参加しました。



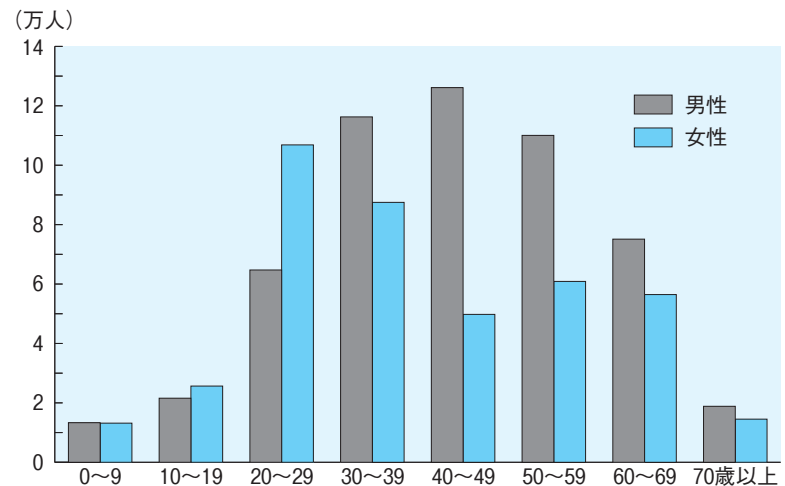
# 36 旅行・行楽

単 位	*1 旅行・行楽の行動者率 総数		*2 国内観光旅行の 行動者率		*3 日本人出国者数		*4 一般旅券発行数	
	%	順位	%	順位	人	順位	件	順位
全 国	76.2		49.6		15 987 250		3 801 384	
北海道	74.1	26	44.2	28	278 266	12	93 855	10
青森県	64.3	45	31.8	46	40 848	43	16 095	42
岩手県	69.3	41	38.2	39	45 623	42	17 451	41
宮城県	75.7	18	50.2	13	140 041	22	45 361	20
秋田県	69.5	40	37.2	43	38 124	44	15 429	44
山形県	70.8	35	44.5	26	53 787	39	19 914	37
福島県	71.0	34	42.1	31	105 284	25	37 479	24
茨城県	74.4	24	46.3	24	295 938	11	79 554	12
栃木県	76.1	15	48.9	20	181 734	18	49 120	17
群馬県	75.8	16	49.2	18	172 551	20	47 342	18
埼玉県	80.7	5	56.1	3	960 840	6	234 531	5
千葉県	78.9	7	53.7	7	999 785	5	227 346	6
東京都	81.7	3	59.2	1	3 046 025	1	615 734	1
神奈川県	82.1	1	58.7	2	1 747 262	2	380 823	2
新潟県	74.4	24	50.0	14	131 495	23	45 347	21
富山県	77.7	10	50.9	9	78 603	30	25 030	32
石川県	77.3	12	50.0	14	93 524	27	30 613	26
福井県	78.1	9	49.0	19	63 333	37	19 273	38
山梨県	75.2	21	50.3	12	80 376	29	22 541	35
長野県	79.2	6	50.9	9	188 028	17	53 163	15
岐阜県	77.5	11	48.6	22	231 448	14	60 077	14
静岡県	75.7	18	50.0	14	395 240	9	106 287	9
愛知県	81.7	3	55.3	4	1 082 853	4	260 727	4
三重県	75.0	22	50.6	11	192 360	16	52 085	16
滋賀県	81.8	2	54.4	5	175 693	19	45 084	22
京都府	77.1	13	51.3	8	355 609	10	88 259	11
大阪府	76.4	14	49.3	17	1 217 127	3	290 609	3
兵庫県	75.8	16	48.8	21	775 049	7	187 965	7
奈良県	78.4	8	53.9	6	199 711	15	47 186	19
和歌山県	69.8	39	43.2	29	78 284	31	23 244	34
鳥取県	72.3	28	42.0	33	37 509	45	12 554	45
島根県	68.6	42	36.8	44	31 240	47	11 371	46
岡山県	75.5	20	46.2	25	149 776	21	44 518	23
広島県	72.9	27	44.3	27	246 461	13	71 530	13
山口県	72.1	29	42.1	31	97 297	26	29 724	27
徳島県	69.9	38	41.9	34	49 127	40	15 704	43
香川県	71.8	30	43.0	30	70 456	33	21 736	36
愛媛県	67.1	43	37.6	42	81 238	28	25 216	31
高知県	61.1	46	33.9	45	32 260	46	10 598	47
福岡県	74.9	23	47.3	23	507 490	8	145 292	8
佐賀県	70.3	36	41.8	35	55 213	38	17 861	39
長崎県	65.1	44	38.1	40	76 740	32	26 453	30
熊本県	71.1	33	40.3	38	114 301	24	36 141	25
大分県	71.2	32	40.6	37	68 663	35	23 794	33
宮崎県	71.3	31	40.7	36	46 059	41	17 603	40
鹿児島県	70.0	37	38.0	41	66 881	36	26 479	29
沖縄県	53.2	47	24.3	47	70 449	34	27 281	28

資料出所  
\*1,2 「社会生活基本調査」総務省統計局  
\*3 「出入国管理統計」法務省HP  
\*4 「旅券統計」外務省HP

調査時点又は期間  
平成18年10月  
平成20年  
平成20年  
調査周期  
5年  
毎年  
毎年

## 年齢別出国日本人数(平成20年)



資料：「出入国管理統計」法務省HP

### 全国平均を上回る旅行・行楽の行動者率

「社会生活基本調査」によると、平成18年の旅行・行楽の行動者率は80.7%で、前回調査(平成13年)より6.2ポイント低下し、全国第5位でした。行楽(日帰り)は62.0%で、前回調査より9.5ポイント、旅行は70.2%で、6.6ポイント低下しました。

また、旅行のうち国内の観光旅行の行動者率は56.1%で、前回調査より6.5ポイント低下し、全国第3位でした。

### 出国日本人数 男性は40代、女性は20代が最多

「出入国管理統計」によると、平成20年の本県を住所地とする出国日本人数は、前年より90,610人減少し、960,840人(男性546,025人、女性414,815人)で、全国第6位でした。年齢別にみると、男性は40代が126,121人、女性は20代が106,841人で最も多くなっています。また、10代、20代では女性が男性を上回っています。

「旅券統計」によると、平成20年の一般旅券発行数は、前年より23,799件減少して234,531件でした。

※表\*3の全国計は、住所地が外国の者を含みます。  
※表\*4の数値は、在外公館での旅券発行分を含みません。また、全国計は、外務省発行分を含みます。

～「ちよこたび埼玉」ニューオープン！～

目的別入込観光客構成比

本県の平成19年の入込客数は1億1,148万人と推計され、前年より129万人増加(1.2%増)しました。目的別では、各種行事まわりの見学者が前年より89万人減少したものの、11年連続で最多でした。また、日帰り客は全体の74.8%で、宿泊客はわずか1.8%でした。

県内には、まだ多くの人に知られていない魅力的な地域やご当地グルメ等がたくさんあります。県では、日帰り観光客の比率が高い本県の観光客向けに、「ちよこっと気軽にお出かけ(旅)」をしてもらおう情報源となるよう、参加型の新公式観光サイト「ちよこたび埼玉」を平成21年11月1日にオープンしました。

資料：「平成19年(暦年)入込観光客「推計」調査」県観光課

おしえてコバトン

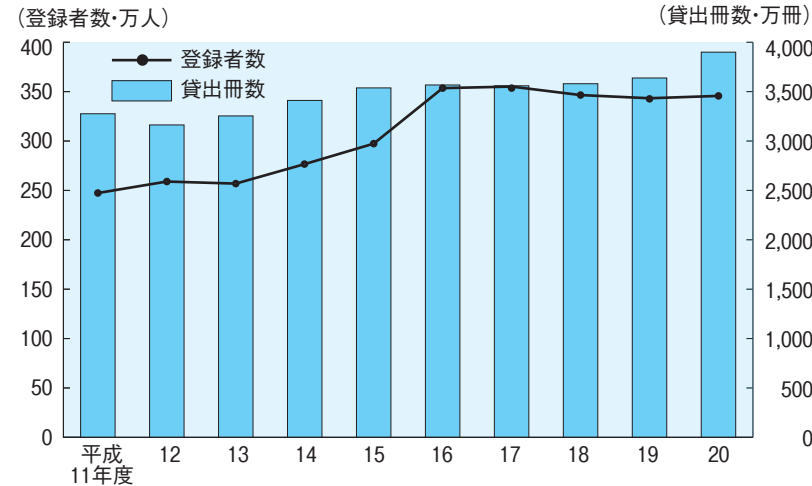
# 37 文化施設

単 位	*1 図書館数		*2 博物館及び 博物館類似施設数		*3 公民館及び 公民館類似施設数		*4 文化会館数	
	館	順位	館・施設	順位	館・施設	順位	館	順位
	全 国	3 165		5 773		16 566		1 893
北海道	144	3	321	2	511	6	72	7
青森県	34	37	87	35	299	28	21	37
岩手県	47	24	110	20	334	24	28	31
宮城県	34	37	123	17	511	6	40	17
秋田県	46	27	93	28	408	14	23	34
山形県	36	35	82	36	640	3	22	36
福島県	64	16	122	18	420	12	36	23
茨城県	57	20	96	27	389	16	39	20
栃木県	47	24	165	10	193	39	32	26
群馬県	39	31	98	24	228	34	43	16
埼玉県	157	2	124	16	526	4	80	4
千葉県	133	5	122	18	318	27	54	9
東京都	384	1	318	3	136	44	128	1
神奈川県	83	12	178	9	178	41	72	7
新潟県	78	13	236	4	740	2	44	15
富山県	58	19	107	22	337	22	32	26
石川県	47	24	134	12	331	25	29	30
福井県	37	32	66	38	221	35	20	40
山梨県	52	21	97	26	525	5	21	37
長野県	113	6	368	1	1 378	1	49	11
岐阜県	73	14	207	7	346	20	45	14
静岡県	92	9	194	8	174	43	52	10
愛知県	91	10	219	5	403	15	74	5
三重県	41	30	105	23	433	10	40	17
滋賀県	50	23	91	31	176	42	34	25
京都府	69	15	127	15	232	33	37	22
大阪府	141	4	110	20	294	29	84	2
兵庫県	99	8	213	6	373	19	74	5
奈良県	33	40	50	41	439	9	32	26
和歌山県	29	42	41	46	331	25	21	37
鳥取県	28	44	49	43	197	38	15	45
島根県	37	32	88	33	341	21	19	42
岡山県	61	17	133	14	431	11	39	20
広島県	84	11	134	12	387	17	48	12
山口県	51	22	88	33	291	30	36	23
徳島県	29	42	46	44	337	22	14	47
香川県	28	44	45	45	182	40	16	44
愛媛県	43	29	89	32	473	8	27	32
高知県	34	37	39	47	205	36	15	45
福岡県	106	7	137	11	385	18	84	2
佐賀県	21	47	65	39	136	44	20	40
長崎県	37	32	92	29	203	37	40	17
熊本県	46	27	98	24	414	13	30	29
大分県	33	40	67	37	245	32	23	34
宮崎県	24	46	50	41	120	46	26	33
鹿児島県	59	18	92	29	291	30	46	13
沖縄県	36	35	57	40	104	47	17	43

資料出所 \*1~4 「社会教育調査(中間報告)」文部科学省HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成20年10月1日 3年

# 市町村立図書館登録者数と貸出冊数



注)貸出冊数は、自動車図書館分を含み、団体貸出分を除く。  
資料：「埼玉の公立図書館」埼玉県図書館協会HP

## 全国でも上位の文化施設数

「社会教育調査」によると、平成20年10月1日現在の図書館数は、前回調査(平成17年)より10館増加し157館で、前回に引き続き全国第2位でした。

また、博物館数は、前回調査より3館減少して23館、博物館類似施設数は、7施設増加して101施設、合計で4増加の124でした。

公民館数は、前回調査より20館減少して508館、公民館類似施設数は、4施設減少して18施設、合計で24減少の526で全国第4位でした。

文化会館数は前回調査より1館増加して80館で、全国第4位でした。

「埼玉県の公立図書館」によると、市町村立図書館の平成20年度の貸出冊数は、前年度より2,615,431冊増加して38,996,305冊、登録者数(年度末現在)は、23,665人増加して3,456,685人でした。

※表\*1~4は中間報告値であり、平成22年3月公表予定の確定値と異なる場合があります。

## ~ハイレベルな公募美術展“県展”~

県展は、正式名称を「埼玉県美術展覧会」といいます。戦後間もない時期(昭和26年3月)から始まった歴史と伝統を持つ、県内最大の公募美術展です。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門があり、15歳以上(中学生を除く)の県内在住、在勤、在学の方は、どなたでも出品できます。県展の入選率は、各部門の平均で約42%と近県と比べてハイレベルな公募美術展です。また、日本芸術院会員や重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品も展示されるなど、格調高い美術展としても有名です。平成22年に開催する県展は、記念すべき第60回展となります。



おしえてコバトン



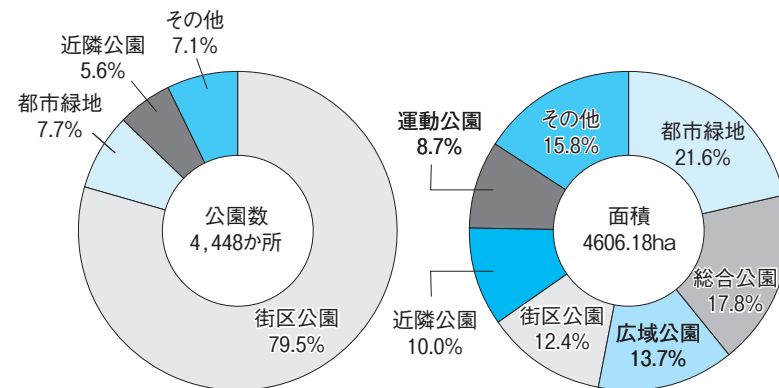
# 38 公園・道路

単 位	*1 都市公園数		*2 都市公園面積		*3 道路実延長		*4 改良率 (国・都道府県道)	
	か所	順位	ha	順位	km	順位	%	順位
	全 国	96 808		114 990		1 196 216.5		74.6
北海道	7 283	1	13 000	1	88 982.5	1	95.0	1
青森県	830	33	1 908	21	19 504.5	26	74.2	21
岩手県	1 148	25	1 388	33	32 736.9	13	82.2	9
宮城県	2 582	11	3 236	10	24 324.8	22	83.9	8
秋田県	538	39	1 700	27	23 482.5	24	79.2	14
山形県	767	35	1 704	26	16 233.7	32	84.0	7
福島県	1 096	27	2 138	19	38 699.5	7	68.2	33
茨城県	1 742	19	2 432	16	55 795.9	2	73.5	23
栃木県	1 885	17	2 571	14	24 492.4	21	73.3	24
群馬県	1 354	22	2 500	15	34 736.6	12	75.7	19
埼玉県	4 448	8	4 607	5	46 491.4	5	86.7	3
千葉県	5 692	5	3 773	9	39 818.9	6	79.3	13
東京都	7 270	2	5 387	3	23 927.3	23	85.7	6
神奈川県	6 875	3	4 369	8	25 109.9	19	86.0	5
新潟県	2 077	16	2 601	13	36 841.1	8	70.8	30
富山県	1 759	18	1 528	30	13 536.5	37	80.3	11
石川県	1 043	28	1 352	35	12 943.2	39	76.3	18
福井県	733	36	1 111	40	10 552.9	44	71.8	28
山梨県	190	47	723	43	10 930.8	42	65.9	37
長野県	868	32	2 239	18	47 595.8	4	67.2	35
岐阜県	1 286	23	1 808	23	30 155.5	15	67.2	35
静岡県	2 245	13	2 972	11	36 312.2	10	74.7	20
愛知県	4 176	9	5 249	4	49 369.5	3	80.1	12
三重県	2 335	12	1 553	29	24 635.2	20	68.0	34
滋賀県	494	40	1 134	39	12 023.6	40	71.3	29
京都府	2 167	15	1 792	24	15 205.2	34	64.1	39
大阪府	5 848	4	4 604	6	18 967.2	27	86.5	4
兵庫県	5 440	7	6 336	2	35 710.5	11	73.9	22
奈良県	2 172	14	1 652	28	11 894.0	41	54.0	44
和歌山県	276	44	651	45	13 233.9	38	52.7	45
鳥取県	304	43	643	46	8 652.8	46	81.7	10
島根県	324	42	1 013	41	17 947.6	28	63.0	41
岡山県	1 440	21	2 417	17	31 607.8	14	63.8	40
広島県	2 916	10	2 838	12	28 227.7	16	72.6	26
山口県	1 035	29	1 774	25	16 157.8	33	62.4	42
徳島県	258	45	572	47	14 857.7	35	50.7	47
香川県	348	41	1 305	37	10 091.7	45	78.2	16
愛媛県	572	38	1 441	32	17 793.4	31	58.7	43
高知県	829	34	673	44	13 633.7	36	52.2	46
福岡県	5 507	6	4 385	7	36 801.7	9	79.0	15
佐賀県	227	46	776	42	10 622.8	43	72.4	27
長崎県	1 131	26	1 479	31	17 835.0	30	69.3	32
熊本県	1 464	20	1 367	34	25 420.3	18	69.6	31
大分県	1 022	30	1 185	38	17 943.2	29	73.3	24
宮崎県	897	31	1 937	20	19 736.6	25	65.0	38
鹿児島県	1 188	24	1 830	22	26 784.1	17	76.9	17
沖縄県	727	37	1 341	36	7 859.0	47	91.7	2

資料出所  
\*1,2 国土交通省  
\*3,4 「道路統計年報」全国道路利用者会議

調査時点又は期間  
平成21年3月31日  
平成20年4月1日

# 都市公園の整備状況(平成21年3月31日)



資料：「埼玉県都市公園調査」県公園スタジアム課

## 都市公園数 前年より148か所の増加

国土交通省の資料及び「埼玉県都市公園調査」によると、平成21年3月31日現在の都市公園数は、前年より148か所増えて4,448か所、その面積の合計は4,607haで、全国第5位でした。また、1人当たりの公園面積は、全国平均で9.6㎡、本県は6.46㎡でした。

## 幹線道路の改良率86.7%

「道路統計年報」によると、平成20年4月1日現在の道路の実延長は46,491.4km、舗装率(簡易舗装を除く)は16.8%でした。また、幹線交通を担う国と都道府県道の整備状況は、改良率86.7%で全国第3位でした。

$$\text{改良率} = \text{車道幅員5.5m以上の道路延長} \div \text{実延長} \times 100$$

※表\*1,2は、都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特定地区公園(カントリーパーク)を含みます。

※表\*3は、一般国道、都道府県道(主要地方道を含む)と市町村道の合計です。

## ～日本の航空発祥の地～

明治44年4月1日、所沢に幅50m、長さ400mの滑走路を備えた日本で最初の飛行場が誕生し、同年4月5日にはアンリ・ファルマン機が初飛行に成功しました。この飛行場は現在、「県営所沢航空記念公園」としてみどり豊かな憩いの場となり、多くの県民に親しまれています。また、園内に開設された「所沢航空発祥記念館」は、飛行機の原理や航空技術、歴史などを迫力ある多数の実機や映像などを交えて、楽しみながら理解できる複合型の航空記念館です。



# 39 上下水道

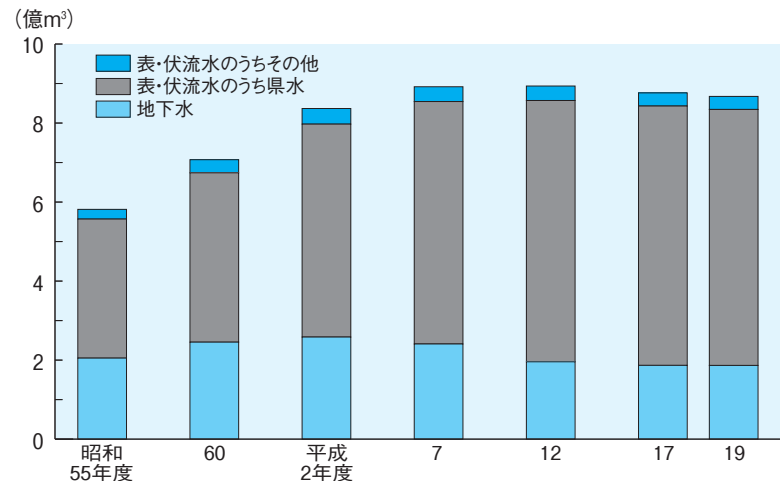
単 位	*1 上水道年間給水量		*2 水道普及率		*3 下水道処理人口普及率		*4 汚水処理人口普及率	
	千m <sup>3</sup>	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	15 404 742		97.4		72.7		84.8	
北海道	568 054	8	97.5	23	88.8	6	93.1	8
青森県	141 381	32	97.4	24	52.2	33	68.7	39
岩手県	129 035	37	92.6	39	51.0	35	70.2	36
宮城県	273 411	17	98.6	18	75.9	11	85.8	14
秋田県	104 276	42	89.7	46	56.0	30	76.7	26
山形県	135 503	35	97.6	22	70.1	15	84.9	17
福島県	224 697	22	92.1	42	47.1	37	71.2	34
茨城県	314 909	14	91.7	44	54.2	32	74.9	30
栃木県	244 114	21	95.1	32	59.3	24	76.1	28
群馬県	297 289	15	99.3	10	47.2	36	70.0	37
埼玉県	874 312	5	99.7	7	75.2	12	87.0	12
千葉県	658 067	7	94.3	34	67.2	19	82.2	20
東京都	1 644 990	1	100.0	1	99.1	1	99.4	1
神奈川県	1 139 588	3	99.8	4	95.5	2	97.1	4
新潟県	315 318	13	98.8	14	64.6	22	78.4	22
富山県	120 380	39	93.2	36	77.0	9	91.5	9
石川県	150 412	30	98.5	19	76.3	10	87.3	11
福井県	103 393	43	96.1	30	68.2	17	86.3	13
山梨県	112 274	40	97.9	21	58.9	26	74.8	32
長野県	274 517	16	98.8	14	77.4	8	94.0	6
岐阜県	246 232	19	95.9	31	67.7	18	85.0	16
静岡県	538 637	9	98.9	13	56.2	29	70.3	35
愛知県	902 528	4	99.8	4	69.0	16	82.4	19
三重県	264 800	18	99.4	8	43.7	41	74.9	30
滋賀県	178 828	25	99.2	11	84.7	7	97.4	3
京都府	342 359	11	99.4	8	89.7	5	93.9	7
大阪府	1 221 637	2	100.0	1	91.9	3	94.7	5
兵庫県	703 779	6	99.8	4	90.7	4	97.8	2
奈良県	171 062	27	99.0	12	73.1	14	83.1	18
和歌山県	149 185	31	96.8	26	18.5	46	47.9	46
鳥取県	67 340	47	97.3	25	61.3	23	88.9	10
島根県	68 821	46	96.6	28	39.4	43	68.5	40
岡山県	245 939	20	98.7	17	57.0	28	77.0	25
広島県	321 033	12	93.2	36	67.0	20	80.1	21
山口県	181 318	23	92.4	41	57.7	27	77.9	23
徳島県	107 423	41	95.1	32	13.3	47	45.8	47
香川県	132 183	36	98.8	14	39.6	42	64.6	43
愛媛県	152 732	29	92.6	39	45.9	39	67.2	41
高知県	85 555	45	91.9	43	30.8	45	64.1	45
福岡県	493 619	10	92.7	38	74.7	13	85.8	14
佐賀県	89 120	44	94.1	35	46.1	38	68.9	38
長崎県	136 425	34	98.4	20	55.5	31	72.2	33
熊本県	162 567	28	85.7	47	59.3	24	76.5	27
大分県	121 639	38	90.2	45	43.8	40	64.6	43
宮崎県	140 466	33	96.8	26	51.1	34	75.1	29
鹿児島県	174 291	26	96.6	28	38.3	44	66.4	42
沖縄県	179 304	24	100.0	1	65.3	21	77.3	24

資料出所  
 \*1 「水道統計 施設・業務編」厚生労働省  
 \*2 「水道統計 施設・業務編」厚生労働省  
 \*3 「下水道整備状況について」国土交通省HP  
 \*4 「汚水処理人口普及状況について」国土交通省HP

調査時点又は期間  
 平成19年度  
 平成19年度末  
 平成20年度末  
 平成20年度末

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年  
 毎年

# 水源別上水道年間給水量



資料：「埼玉県の水道」県生活衛生課

## 水道普及率は99.7%

「水道統計」及び「埼玉県の水道」によると、平成19年度末現在、上水道事業は69事業(69市町)で実施されており、平成19年度の年間給水量は8億7,431万m<sup>3</sup>で全国第5位でした。上水道の水源のうち74.7%が、県水道用水供給事業による水(県水)でした。

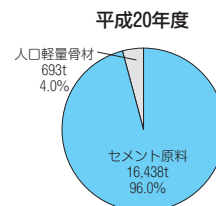
また、平成19年度末現在の給水人口は7,095,266人、水道普及率は前年度と同じ99.7%でした。

## 下水道処理人口普及率、汚水処理人口普及率ともに上昇

国土交通省によると、平成20年度末の下水道処理人口普及率は75.2%、汚水処理人口普及率は87.0%でした。

- 水道普及率 現在給水人口÷総人口×100(人口は、ともに平成20年3月31日現在・厚生労働省)
- 下水道処理人口普及率 処理区域内人口÷総人口(住民基本台帳人口・総務省統計局)×100
- 汚水処理人口普及率 汚水処理施設の処理人口÷総人口(住民基本台帳人口・総務省統計局)×100

## ～下水汚泥(焼却灰)の有効利用～



本県では、下水から発生する汚泥を濃縮、脱水した後、焼却して減量化しています。焼却後に発生する焼却灰は、平成9年度からすべてをセメント等の原料として有効活用しています。

資料：県下水道課



# 40 環境

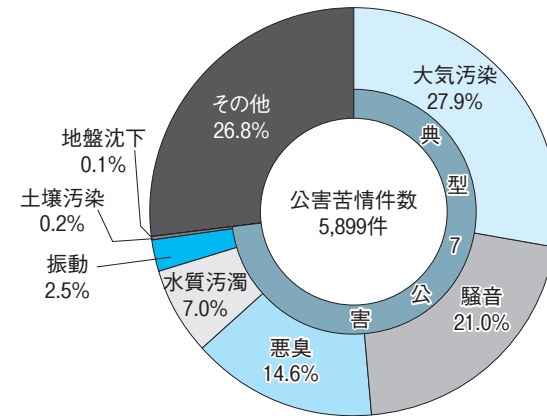
単 位	*1 一般廃棄物 ごみ総排出量		*2 1人1日当たり ごみ排出量		*3 ごみのリサイクル率		*4 こどもエコクラブ数	
	t	順位	g	順位	%	順位	クラブ	順位
全 国	47 822 889		1 025		20.3		4 126	
北海道	2 179 383	7	1 061	8	18.8	25	68	23
青森県	567 921	27	1 076	7	13.0	45	43	34
岩手県	467 537	31	926	39	18.4	28	51	28
宮城県	863 888	15	1 007	20	16.8	36	80	20
秋田県	432 806	36	1 041	12	18.1	31	88	16
山形県	378 486	39	861	47	16.9	35	19	43
福島県	769 716	17	1 013	16	16.3	40	69	22
茨城県	1 059 150	12	969	28	18.4	28	102	14
栃木県	727 055	19	988	24	18.5	27	56	27
群馬県	798 083	16	1 082	6	16.1	41	59	26
埼玉県	2 483 925	5	962	29	25.0	4	290	1
千葉県	2 251 169	6	1 012	17	24.9	5	109	12
東京都	4 814 661	1	1 059	10	22.0	16	190	6
神奈川県	2 967 812	3	916	42	24.7	6	154	9
新潟県	1 289 565	11	1 454	2	27.0	3	68	23
富山県	385 071	38	947	33	20.7	19	47	32
石川県	714 427	21	1 669	1	22.5	14	13	46
福井県	284 060	44	949	32	19.0	24	38	36
山梨県	323 644	41	1 010	19	18.4	28	12	47
長野県	750 060	18	938	37	24.2	9	105	13
岐阜県	706 063	22	919	41	23.1	11	266	2
静岡県	1 407 307	10	1 017	15	21.5	17	120	11
愛知県	2 644 798	4	1 002	21	22.6	13	236	3
三重県	723 931	20	1 058	11	31.2	1	226	4
滋賀県	465 212	32	922	40	19.9	21	177	7
京都府	979 280	14	1 012	17	12.2	46	31	40
大阪府	3 806 933	2	1 199	3	10.9	47	163	8
兵庫県	2 136 026	8	1 041	12	16.6	38	202	5
奈良県	493 030	30	944	34	15.9	42	33	39
和歌山県	408 276	37	1 061	8	13.4	44	17	44
鳥取県	208 733	47	938	37	19.7	23	88	16
島根県	254 618	46	940	36	22.8	12	48	30
岡山県	697 187	23	971	26	24.6	7	83	18
広島県	999 546	13	952	31	23.8	10	82	19
山口県	602 120	25	1 103	4	28.1	2	38	36
徳島県	294 060	42	994	23	19.9	21	35	38
香川県	363 119	40	970	27	20.6	20	15	45
愛媛県	517 029	28	956	30	16.5	39	50	29
高知県	287 883	43	995	22	24.6	7	48	30
福岡県	2 005 171	9	1 088	5	22.5	14	138	10
佐賀県	276 629	45	871	46	17.7	32	27	42
長崎県	510 674	29	943	35	16.8	36	73	21
熊本県	609 533	24	901	44	17.4	34	61	25
大分県	437 863	35	979	25	21.2	18	44	33
宮崎県	438 149	34	1 025	14	18.8	25	29	41
鹿児島県	587 418	26	915	43	17.6	33	92	15
沖縄県	453 882	33	888	45	13.6	43	43	34

資料出所  
 \*1,2 県資源循環推進課  
 \*3 「一般廃棄物処理実態調査」環境省HP  
 \*4 環境省HP

調査時点又は期間  
 平成19年度  
 平成19年度  
 平成20年度

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年

# 公害の種類別苦情件数構成比(平成20年度)



資料：「埼玉県環境白書」県環境政策課

## ごみ排出量は減少

県資源循環推進課の資料によると、平成19年度の一般廃棄物(ごみ)の総排出量は2,483,925tで、前年度より76,884t(3.0%)減少、1人1日当たりの排出量は962gで、前年度より35g減少しました。

また、「一般廃棄物処理実態調査」によると、平成19年度のごみのリサイクル率は25.0%で、前年度より0.2ポイント上昇し、全国第4位でした。

## 公害苦情件数は、前年度より2,475件減少

「埼玉県環境白書」によると、平成20年度の公害苦情件数は、前年度より2,475件減少して5,899件でした。公害の種類別(典型7公害)では、大気汚染が1,644件、以下、騒音1,237件、悪臭862件の順でした。

※表\*1,2 環境省では平成17年度からごみ総排出量の定義を変更しましたが、県資源循環推進課では旧定義により算出しています。

旧定義：ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋自家処理量  
 新定義：ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

$$\text{ごみのリサイクル率} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

## ～官民協働の資源循環モデル施設～

寄居町にある埼玉県環境整備センターは、全国唯一の県直営型広域埋立最終処分場です。敷地内には、公共関与による全国初めての総合的資源循環型モデル施設「彩の国資源循環工場」を整備しています。住民、立地する民間事業者、行政との間で事業運営に関して協定を締結し、住民参画による安心・安全な運営をしています。



# 41 エネルギー

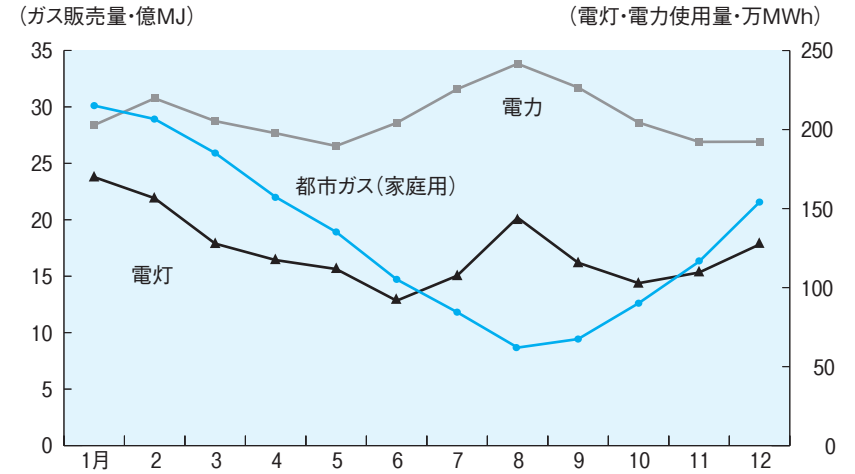
## 月別の都市ガス販売量と電灯・電力使用量(平成20年)

単 位	*1 使用電力・電灯		*2 都市ガス販売量		*3 LPガス・家庭業務用プロパンガス販売量		*4 住宅用太陽光発電システム導入件数	
	百万 kWh	順位	千 MJ	順位	t	順位	件	順位
全 国	285 283		1 502 627 735		9 685 055		401 794	
北海道	11 639	8	23 058 979	15	330 540	9	4 024	34
青森県	2 807	34	1 204 960	43	131 261	24	934	46
岩手県	2 813	33	1 565 882	41	121 553	30	3 971	35
宮城県	4 893	16	11 458 062	20	225 723	14	6 658	27
秋田県	2 286	40	2 543 796	34	84 700	36	812	47
山形県	2 504	37	2 580 314	33	87 306	35	1 685	45
福島県	4 273	21	4 435 633	28	176 947	19	6 877	24
茨城県	6 255	13	21 223 823	16	232 422	12	10 351	15
栃木県	4 346	20	16 511 604	18	122 840	28	9 024	18
群馬県	4 495	19	19 590 197	17	177 070	18	7 538	22
埼玉県	14 613	5	73 559 365	7	545 315	4	19 349	3
千葉県	12 681	7	130 553 521	5	450 008	5	14 821	9
東京都	30 456	1	253 229 433	1	949 254	1	17 120	7
神奈川県	18 382	3	158 315 465	3	667 040	3	15 181	8
新潟県	5 103	14	32 676 749	10	125 047	26	3 333	38
富山県	2 822	32	4 157 485	30	119 869	31	2 573	40
石川県	3 069	30	2 205 710	36	122 237	29	1 910	44
福井県	2 216	41	1 205 388	42	65 233	40	2 534	41
山梨県	1 999	42	3 183 639	32	53 535	44	5 201	32
長野県	4 998	15	10 592 871	22	147 084	22	12 287	12
岐阜県	4 633	18	10 432 943	23	159 222	20	8 314	19
静岡県	8 333	10	53 018 636	8	426 424	6	19 345	4
愛知県	16 089	4	139 969 909	4	700 162	2	23 115	1
三重県	4 245	22	26 581 185	13	196 329	16	6 711	25
滋賀県	3 334	27	29 827 010	12	82 809	37	7 559	21
京都府	6 362	12	45 526 669	9	72 582	39	7 189	23
大阪府	20 399	2	191 569 940	2	278 574	10	19 167	5
兵庫県	12 891	6	102 669 027	6	346 490	8	18 886	6
奈良県	3 238	28	14 447 721	19	43 476	45	5 216	31
和歌山県	2 668	36	11 267 499	21	63 120	42	4 295	33
鳥取県	1 427	47	968 896	45	34 289	47	1 990	43
島根県	1 771	46	791 252	47	64 947	41	2 848	39
岡山県	4 824	17	7 867 622	25	187 290	17	10 416	14
広島県	6 999	11	23 762 680	14	226 293	13	13 973	10
山口県	3 539	25	9 159 272	24	123 329	27	7 942	20
徳島県	1 982	43	2 103 527	37	36 514	46	3 699	36
香川県	2 499	38	2 421 315	35	126 872	25	5 699	30
愛媛県	3 440	26	1 612 192	39	134 118	23	6 183	29
高知県	1 820	45	952 746	46	54 019	43	2 496	42
福岡県	11 304	9	30 497 834	11	413 269	7	21 473	2
佐賀県	1 916	44	1 586 992	40	110 319	32	6 674	26
長崎県	3 141	29	4 342 175	29	104 094	34	9 080	17
熊本県	3 962	23	4 790 983	27	108 042	33	13 382	11
大分県	2 768	35	3 808 236	31	232 847	11	6 298	28
宮崎県	2 481	39	2 020 824	38	72 612	38	9 700	16
鹿児島県	3 683	24	5 709 914	26	199 443	15	10 625	13
沖縄県	2 887	31	1 067 860	44	152 586	21	3 336	37

資料出所 \*1 「電気事業便覧」(株)日本電気協会 \*2 「ガス事業年報」資源エネルギー庁 \*3 「LPガス資料年報」(株)石油化学新聞社 \*4 財新エネルギー財団HP

調査時点又は期間 平成20年度 平成19年度 平成19年度 平成19年度末

調査周期 毎年 毎年 毎年 毎年



資料：関東経済産業局、東京ガス(株)、東京電力(株)

### 都市ガスの供給区域内普及率57.7%

「電気事業便覧」によると、平成20年度の使用電力量のうち一般家庭用を中心とする電灯は、146億 kWh でした。

「ガス事業年報」によると、平成19年度の都市ガス販売量は736億 MJ で、全国第7位でした。また、平成20年3月末現在の需要家メーター取付数は1,293,207個で、メーター取付数を供給区域内一般世帯数で除した供給区域内普及率は57.7%でした。

「LPガス資料年報」によると、平成19年度の家庭業務用プロパンガスの販売量は545,315t で、全国第4位でした。

### 住宅用太陽光発電システム導入件数は全国第3位

財新エネルギー財団によると、平成19年度末現在の住宅用太陽光発電システム導入件数は19,349件で、全国第3位でした。

※表\*1は、10電力会社分です。

※表\*2及びグラフの都市ガス販売量は、一般ガス事業者分です。

※表\*4は、平成6年度から平成16年度までの太陽光発電システム導入に係る補助事業の補助件数と、平成17年度以降の太陽電池メーカー11社の販売件数の累計です。

### ～地球にやさしいエネルギーへ～

本県の平成18年度の温室効果ガス排出量は、4,122万トンで、前年度より4.1%の減少しました。温室効果ガス排出量の96.6%を占める二酸化炭素排出量の部門別割合は、産業部門(31.0%)が最も多く、次いで運輸部門(25.3%)、家庭部門(17.8%)の順でした。

県では、低炭素で地球にやさしいエネルギー社会へ転換するために快晴日数が多いなどの地域特性をいかして、太陽光発電や太陽熱利用設備の普及拡大を図っています。

平成21年4月にスタートした太陽光発電補助制度には、同年12月14日までに6,855件の申請がありました。





# 42 運輸

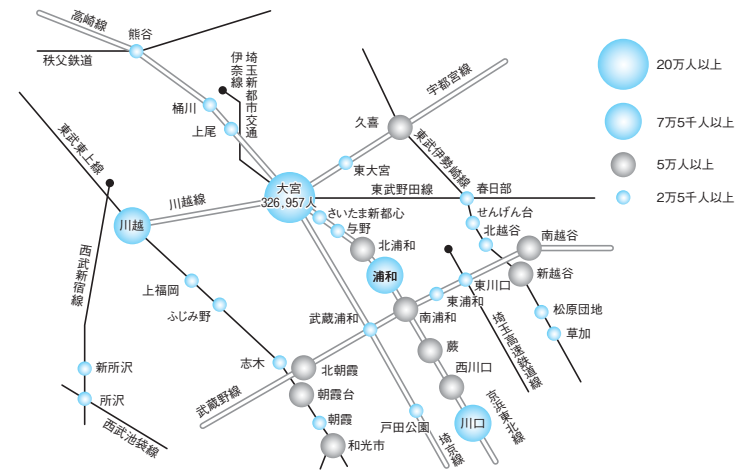
## 主な駅の1日当たりの乗車人員(平成20年度)

単 位	*1 旅客輸送人員 (JR)		*2 旅客輸送人員 (民間鉄道)		*3 自動車旅客 輸送人員(バス)		*4 自動車貨物 輸送トン数	
	千人	順位	千人	順位	千人	順位	千t	順位
全 国	8 806 635.5		13 852 757.0		5 963 212		4 792 946	
北海道	126 577.9	11	220 887.0	10	309 220	5	380 954	1
青森県	13 184.6	38	4 014.0	35	65 179	26	69 291	26
岩手県	22 185.8	26	5 821.0	32	58 417	29	67 208	27
宮城県	100 681.0	14	56 173.2	14	81 230	18	116 618	14
秋田県	15 970.3	35	772.0	42	41 704	36	45 460	39
山形県	15 791.0	36	759.0	43	36 956	39	51 603	34
福島県	37 478.1	21	5 298.0	33	81 103	19	104 954	16
茨城県	95 708.1	15	29 547.5	16	150 599	10	152 421	11
栃木県	48 431.8	18	17 007.1	22	92 413	15	91 909	20
群馬県	33 581.4	24	15 211.3	24	73 793	23	96 213	19
埼玉県	582 776.5	5	589 363.3	6	200 352	9	221 158	3
千葉県	710 362.7	4	582 595.4	7	219 125	8	185 910	8
東京都	3 322 576.8	1	5 969 501.7	1	817 714	1	203 273	6
神奈川県	1 016 759.7	2	1 640 064.4	3	737 445	2	213 735	4
新潟県	60 303.2	17	3 688.0	36	99 008	14	117 981	13
富山県	20 005.5	31	15 938.9	23	32 918	42	61 209	28
石川県	20 351.1	30	3 585.0	37	45 359	34	58 058	30
福井県	10 920.9	41	4 683.0	34	34 088	41	37 411	43
山梨県	20 680.6	28	3 032.0	38	40 862	38	31 865	45
長野県	48 239.1	19	22 019.1	19	91 996	16	101 770	18
岐阜県	44 485.5	20	28 969.6	17	83 141	17	109 205	15
静岡県	128 613.0	10	41 769.0	15	127 667	12	179 062	9
愛知県	223 332.1	7	825 354.3	4	261 423	7	278 103	2
三重県	11 512.1	39	79 702.6	12	60 903	28	90 582	21
滋賀県	107 662.9	13	18 917.1	20	76 045	20	54 529	31
京都府	163 185.9	9	366 968.5	8	150 537	11	80 268	23
大阪府	753 371.6	3	2 098 559.8	2	367 954	3	207 710	5
兵庫県	403 009.0	6	616 922.0	5	272 930	6	165 898	10
奈良県	34 943.8	23	145 083.2	11	66 244	25	49 196	37
和歌山県	25 460.3	25	12 812.0	27	49 823	33	50 799	35
鳥取県	10 615.6	42	978.5	40	28 356	44	24 556	47
島根県	6 809.3	45	1 408.0	39	36 131	40	29 209	46
岡山県	63 667.8	16	6 144.8	31	63 384	27	102 831	17
広島県	126 114.9	12	70 718.6	13	102 434	13	125 692	12
山口県	35 668.7	22	288.0	44	55 707	31	60 468	29
徳島県	10 115.4	43	54.5	46	22 030	46	37 923	42
香川県	17 471.8	33	13 197.0	26	22 133	45	54 129	32
愛媛県	11 128.9	40	18 164.0	21	30 429	43	71 157	25
高知県	5 850.2	46	7 539.5	30	17 076	47	32 677	44
福岡県	201 179.8	8	245 936.7	9	342 581	4	186 523	7
佐賀県	16 823.3	34	905.6	41	42 428	35	43 158	41
長崎県	14 798.9	37	24 058.7	18	75 858	21	43 359	40
熊本県	17 849.3	32	12 507.1	28	74 507	22	76 131	24
大分県	21 063.0	27	93.0	45	51 157	32	49 991	36
宮崎県	8 706.7	44	-	-	41 505	37	53 703	33
鹿児島県	20 629.6	29	11 977.9	29	73 421	24	81 527	22
沖縄県	-	-	13 766.0	25	57 925	30	45 552	38

資料出所  
\*1,2 「旅客地域流動調査」国土交通省HP  
\*3,4 「交通関連統計資料集」国土交通省HP

調査時点又は期間  
平成19年度  
平成19年度

調査周期  
毎年  
毎年



資料：東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)、埼玉高速鉄道(株)

### 鉄道の旅客輸送は増加傾向

「旅客地域流動調査」によると、平成19年度のJR旅客輸送人員は、前年度より1,228万人増加して5億8,278万人(定期の旅客3億9,742万人、定期外の旅客1億8,536万人)でした。

また、民間鉄道の旅客輸送人員は、前年度より1,405万人増加して5億8,936万人(定期の旅客3億7,841万人、定期外の旅客2億1,096万人)でした。

東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)、埼玉高速鉄道(株)の各鉄道会社の資料によると、平成20年度の県内各駅の1日当たりの乗車人員は、大宮駅が326,957人と他の駅を大きく引き離して最も多く、以下、川越駅99,426人、川口駅80,152人でした。

「交通関連統計資料集」によると、平成19年度のバス輸送人員は、前年度より104万人増加して2億35万人でした。

また、自動車貨物輸送トン数は、前年度より660万t増加して2億2,116万tでした。

※グラフ中、大宮、川越、久喜、熊谷、東川口の各駅の乗車人員は、複数の鉄道会社の同名駅の乗車人員を合計して算出しました。



### ～どこでも楽々行ける～

平成21年3月にJR西大宮駅が開業し、県内の鉄道駅総数は237駅になりました。県では、1日平均の利用者数が5千人以上の鉄道駅157駅にエレベーターを設置するなどして、バリアフリー化(段差解消)に取り組んでいます。平成17年度末の対象駅の段差解消率は56.1%でしたが、平成20年度末には75.8%になりました。平成23年度末にはすべての対象駅の段差が解消されるように、目標に掲げて取り組んでいます。



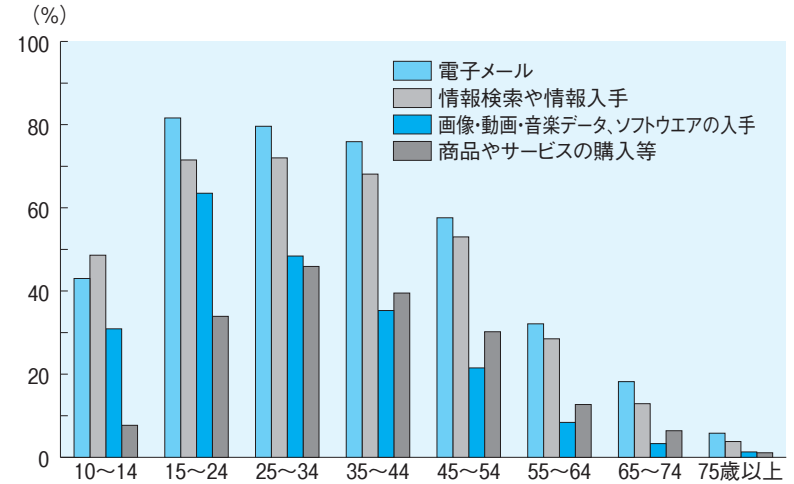
おしえてコバトン



# 43 通信

## インターネットの利用の種類別行動者率(平成18年)

単 位	*1 加入電話加入数		*2 携帯電話契約数		*3 インターネットの利用種類別行動者率(電子メール)		*4 ブロードバンドサービスの契約数	
	件	順位	件	順位	%	順位	契約	順位
全 国	44 781 507		102 724 567		49.1		30 324 920	
北海道	2 013 994	7	4 105 567	9	45.2	21	1 116 168	9
青森県	499 148	28	881 007	32	35.0	47	207 769	34
岩手県	458 889	30	839 752	34	36.9	43	207 717	35
宮城県	770 179	16	1 915 446	14	46.8	13	481 052	14
秋田県	385 978	35	700 040	40	35.6	46	179 570	40
山形県	357 008	39	767 637	38	36.1	44	201 748	38
福島県	659 077	20	1 341 605	22	37.6	37	323 998	23
茨城県	980 727	12	2 178 490	12	46.3	14	578 540	13
栃木県	651 583	21	1 465 405	19	45.9	20	405 874	20
群馬県	673 613	18	1 475 638	18	46.2	15	407 997	19
埼玉県	2 305 881	5	5 430 831	5	53.9	4	1 788 896	5
千葉県	2 052 359	6	4 684 599	6	54.7	3	1 587 050	6
東京都	5 382 026	1	15 006 645	1	62.4	1	4 577 721	1
神奈川県	3 259 819	3	7 101 083	3	60.8	2	2 659 363	2
新潟県	795 758	14	1 589 152	16	40.0	33	438 679	16
富山県	355 575	40	787 736	36	43.3	27	229 504	31
石川県	378 287	36	928 925	31	46.2	15	243 329	29
福井県	253 890	45	582 372	43	43.8	24	167 338	42
山梨県	317 250	41	641 581	41	44.1	22	178 515	41
長野県	780 141	15	1 540 760	17	43.6	26	454 077	15
岐阜県	673 823	17	1 591 663	15	46.0	17	423 654	17
静岡県	1 323 777	10	2 817 978	10	44.0	23	881 178	10
愛知県	2 423 134	4	6 281 352	4	50.8	9	1 836 303	4
三重県	640 377	22	1 405 329	21	48.0	11	414 544	18
滋賀県	404 133	34	1 045 009	26	51.6	8	323 323	24
京都府	937 392	13	2 080 570	13	53.3	5	683 784	11
大阪府	3 495 964	2	8 018 552	2	52.8	6	2 486 948	3
兵庫県	1 633 585	9	4 256 151	7	49.5	10	1 339 536	7
奈良県	465 124	29	1 068 582	25	51.8	7	328 279	22
和歌山県	376 812	37	733 894	39	40.8	31	204 184	36
鳥取県	197 806	47	410 131	47	40.7	32	108 601	47
島根県	258 480	44	490 717	46	38.5	36	121 592	45
岡山県	661 346	19	1 424 364	20	46.0	17	402 145	21
広島県	994 900	11	2 411 272	11	46.0	17	624 388	12
山口県	561 726	25	1 027 249	27	42.6	29	293 187	26
徳島県	281 110	43	569 281	44	43.7	25	152 183	43
香川県	364 980	38	853 622	33	42.2	30	203 672	37
愛媛県	549 148	26	1 008 951	28	43.2	28	266 794	27
高知県	299 537	42	530 789	45	36.1	44	120 741	46
福岡県	1 678 874	8	4 193 163	8	47.4	12	1 121 013	8
佐賀県	236 556	46	597 123	42	37.2	41	125 707	44
長崎県	523 362	27	994 256	29	37.6	37	238 131	30
熊本県	572 391	24	1 262 713	23	40.0	33	299 761	25
大分県	432 096	31	830 266	35	39.4	35	223 800	32
宮崎県	406 294	33	772 675	37	37.4	39	189 443	39
鹿児島県	635 802	23	1 139 075	24	37.2	41	254 109	28
沖縄県	421 796	32	945 569	30	37.3	40	223 015	33



(注)利用形態の内訳は複数回答。

資料：「社会生活基本調査」総務省統計局

### 加入(固定)電話は減少、携帯電話は年々増加

「テレコムデータブック(TCA 編)」によると、平成19年度末の加入電話(固定電話)加入数は、前年度より191,947件減少して2,305,881件でした。また、携帯電話契約数は、前年度より241,574件増加して5,430,831件でした。

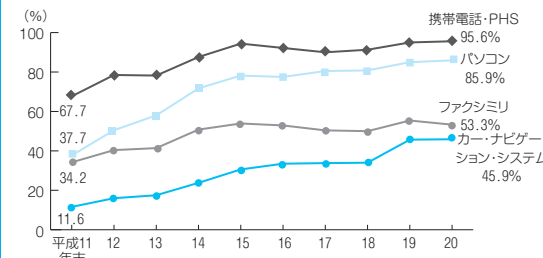
### 増加するインターネット利用者数

「社会生活基本調査」によると、平成18年のインターネット利用者数は409万1千人、行動者率は前回調査(平成13年)より13.5ポイント上昇して64.6%で、東京都(70.8%)、神奈川県(70.7%)に次いで千葉県と同じ全国第3位でした。利用の種類別の行動者率は、「電子メール」が53.9%と最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」が48.4%でした。

総務省によると、平成21年3月末現在のブロードバンドサービス契約数は、前年より89,843契約増加して1,788,896契約でした。

### ～情報通信機器の普及～

#### 普及率の推移



「通信利用動向調査」によると、「携帯電話・PHS」及び「パソコン」の世帯普及率は、それぞれ95.6%及び85.9%と大半の世帯に普及しています。「カー・ナビゲーション・システム」の世帯普及率は45.9%で、自動車の情報通信化も進展しています。



資料出所  
\*1,2 「テレコムデータブック(TCA 編)」(社)電気通信事業者協会  
\*3 「社会生活基本調査」総務省統計局  
\*4 総務省HP

調査時点又は期間  
平成19年度末  
平成18年10月  
平成21年3月末

調査周期  
毎年  
5年  
毎年

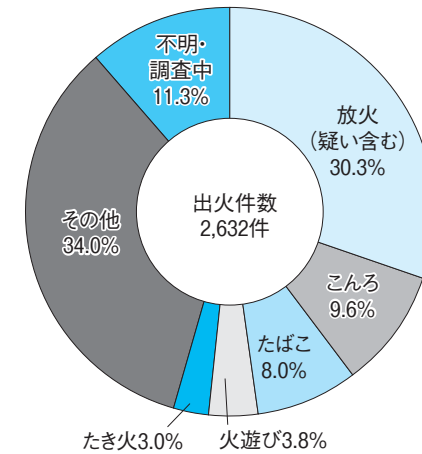
# 44 消防

# 原因別出火件数構成比(平成20年)

単 位	*1 出火件数		*2 火災損害額		*3 救急自動車 救急出場件数		*4 救助活動件数	
	件	順位	千円	順位	件	順位	件	順位
全 国	52 394		108 416 810		5 097 094		53 295	
北海道	2 553	7	3 954 949	9	204 716	8	1 724	8
青森県	664	23	2 659 494	15	40 621	35	336	33
岩手県	594	27	2 110 099	20	42 168	33	283	43
宮城県	1 051	13	2 216 381	19	82 445	15	942	12
秋田県	519	32	1 923 156	24	35 649	38	329	34
山形県	439	37	1 103 230	30	38 256	36	311	37
福島県	838	20	2 701 146	12	69 114	22	563	20
茨城県	1 514	11	5 428 867	5	103 020	13	851	14
栃木県	903	18	2 086 520	22	66 207	24	687	15
群馬県	872	19	2 843 935	11	72 861	18	522	23
埼玉県	2 632	5	5 544 099	4	261 364	5	2 397	4
千葉県	2 437	8	6 160 443	2	248 947	6	1 923	6
東京都	5 831	1	9 502 136	1	661 310	1	18 137	1
神奈川県	2 748	4	4 319 122	7	366 049	3	2 487	3
新潟県	746	22	2 673 118	14	83 279	14	562	21
富山県	228	47	800 181	40	34 039	41	337	32
石川県	344	43	746 430	41	35 431	39	296	39
福井県	233	46	670 204	42	23 689	46	284	41
山梨県	370	41	625 775	43	32 773	42	313	36
長野県	920	17	2 689 978	13	77 715	16	575	19
岐阜県	952	14	1 817 357	25	71 216	20	651	16
静岡県	1 564	10	2 638 045	16	137 374	10	1 146	9
愛知県	3 306	3	3 995 972	8	272 119	4	1 882	7
三重県	829	21	2 272 414	18	72 553	19	589	18
滋賀県	492	34	1 158 191	27	51 114	30	403	30
京都府	583	28	1 959 835	23	112 642	11	916	13
大阪府	3 392	2	5 170 523	6	470 422	2	3 251	2
兵庫県	2 575	6	6 010 831	3	215 884	7	1 998	5
奈良県	473	35	1 157 561	28	54 958	28	441	27
和歌山県	421	38	930 029	37	44 440	32	382	31
鳥取県	259	45	953 844	36	21 041	47	224	47
島根県	348	42	869 066	39	25 574	45	263	45
岡山県	934	15	2 400 223	17	72 960	17	558	22
広島県	1 325	12	2 098 933	21	111 479	12	1 009	11
山口県	614	26	1 100 505	31	60 358	25	521	24
徳島県	303	44	580 459	45	27 784	44	291	40
香川県	457	36	1 053 308	34	41 445	34	284	41
愛媛県	582	30	1 072 562	33	56 572	27	439	28
高知県	420	39	516 768	46	34 414	40	262	46
福岡県	1 918	9	3 205 545	10	203 279	9	1 092	10
佐賀県	380	40	622 997	44	30 523	43	304	38
長崎県	634	25	1 050 158	35	52 560	29	326	35
熊本県	661	24	911 698	38	70 927	21	598	17
大分県	537	31	1 140 994	29	44 776	31	459	26
宮崎県	583	28	1 084 934	32	36 895	37	265	44
鹿児島県	922	16	1 459 937	26	66 554	23	462	25
沖縄県	494	33	424 858	47	57 578	26	420	29

資料出所  
\*1~4「消防白書」消防庁

調査時点又は期間  
平成20年  
調査周期  
毎年



資料：県消防防災課HP

## 出火件数は年々減少

「消防白書」によると、平成20年の出火件数は、前年より103件減少して2,632件でした。出火件数のうち、建物出火の1,490件が全体の56.6%と最も多く、車両出火の261件がこれに続いています。また、火災によるり災世帯数は1,419世帯、り災人員は3,744人でした。

火災損害額は55億4,410万円で、このうち建物の損害額が52億9,327万円(焼損棟数2,109棟)で全体の95.5%を占めています。

県消防防災課によると、平成20年の原因別出火件数は、放火(放火の疑い含む)の799件が全体の30.3%(前年28.0%)を占めて最も多く、以下、こんろ252件、たばこ210件の順でした。

## 救急出場件数は減少に転じる

「消防白書」によると、平成20年の救急自動車による救急出場件数は、前年より10,132件減少して261,364件でした。出場原因としては、急病が157,796件と最も多く、以下、一般負傷33,589件、交通事故33,001件、転院搬送18,825件でした。

また、救助活動件数は2,397件で、その救助活動による救助人員は1,621人でした。救助活動件数で最も多いのは火災の871件(救助人員105人)で、以下、交通事故531件(同597人)、建物等による事故379件(同348人)でした。



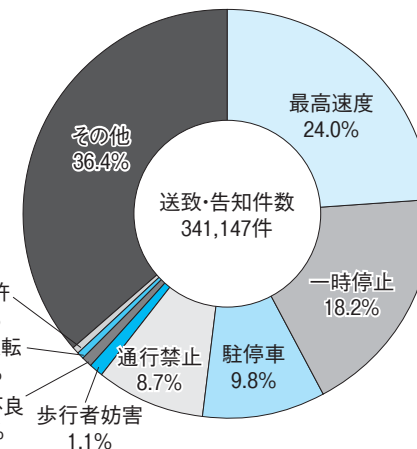
# 45 交通事故

# 道路交通法違反行為別の送致・告知件数構成比(車両等の違反)(平成20年)

単 位	*1 交通事故発生件数		*2 交通事故死者数		*3 運転免許保有者数		*4 保有自動車数	
	件	順位	人	順位	人	順位	両	順位
全 国	766 147		5 155		80 447 842		78 800 542	
北海道	21 091	10	228	3	3 366 131	8	3 653 727	6
青森県	6 404	39	62	32	865 863	29	982 560	27
岩手県	4 458	42	69	29	842 895	32	981 181	28
宮城県	10 947	24	95	22	1 492 001	15	1 566 709	18
秋田県	3 928	45	61	33	696 987	38	816 564	38
山形県	7 832	31	48	40	781 266	33	916 944	31
福島県	11 717	21	113	18	1 319 878	20	1 565 208	19
茨城県	18 225	12	210	6	2 017 474	11	2 451 685	11
栃木県	11 637	22	129	13	1 379 583	19	1 643 978	17
群馬県	20 315	11	95	22	1 396 392	18	1 728 529	15
埼玉県	40 890	6	232	2	4 487 066	5	3 909 132	4
千葉県	27 586	9	213	5	3 878 527	6	3 458 375	7
東京都	61 525	1	218	4	7 337 965	1	4 518 967	2
神奈川県	44 876	4	189	11	5 427 798	2	3 977 092	3
新潟県	11 749	20	124	15	1 576 882	14	1 805 926	14
富山県	6 233	40	58	35	741 489	37	876 165	35
石川県	6 769	36	56	37	759 323	36	869 165	36
福井県	4 012	43	55	38	534 829	44	642 070	43
山梨県	6 477	38	50	39	592 174	41	725 676	41
長野県	11 898	17	118	16	1 483 244	16	1 850 405	12
岐阜県	12 138	16	141	12	1 409 977	17	1 658 749	16
静岡県	36 748	8	210	6	2 546 860	10	2 813 125	10
愛知県	52 719	3	276	1	4 867 791	4	4 951 846	1
三重県	11 886	18	110	19	1 251 620	22	1 459 184	21
滋賀県	9 027	28	79	27	922 324	27	972 062	29
京都府	15 517	15	102	20	1 584 261	13	1 342 712	22
大阪府	53 769	2	198	9	5 017 766	3	3 738 506	5
兵庫県	37 139	7	199	8	3 414 185	7	2 956 896	9
奈良県	6 836	35	48	40	907 435	28	825 918	37
和歌山県	7 270	33	63	31	690 871	39	740 724	40
鳥取県	2 138	47	30	47	383 289	47	452 772	47
島根県	2 199	46	42	44	464 732	46	539 248	46
岡山県	17 833	13	114	17	1 284 315	21	1 479 696	20
広島県	17 705	14	128	14	1 836 037	12	1 830 960	13
山口県	8 118	30	91	24	938 378	26	1 054 815	25
徳島県	5 760	41	42	44	535 387	43	608 618	44
香川県	11 794	19	61	33	676 967	40	754 387	39
愛媛県	9 179	27	82	26	939 347	25	999 546	26
高知県	4 005	44	57	36	501 625	45	553 938	45
福岡県	44 353	5	197	10	3 160 974	9	3 189 039	8
佐賀県	8 740	29	68	30	561 021	42	645 956	42
長崎県	7 370	32	40	46	858 999	31	914 298	32
熊本県	11 522	23	98	21	1 184 812	23	1 310 289	24
大分県	6 977	34	77	28	776 871	34	889 472	34
宮崎県	9 384	26	48	40	766 218	35	907 966	33
鹿児島県	10 943	25	88	25	1 127 646	24	1 310 444	23
沖縄県	6 509	37	43	43	860 367	30	959 318	30

資料出所  
\*1,2 「平成20年の犯罪」警察庁HP  
\*3 「交通年鑑」県警察本部  
\*4 「交通関連統計資料集」国土交通省HP

調査時点又は期間  
平成20年 毎年  
平成20年12月末 毎年  
平成21年3月31日 毎年



資料：「平成20年の犯罪」警察庁HP

## 減少傾向にある交通事故件数

「平成20年の犯罪」によると、平成20年に発生した交通事故(人身事故)は40,890件、死者232人、負傷者49,774人でした。前年より事故件数は3,930件減少、死者は4人増加、負傷者は5,100人減少しました。

また、道路交通法違反による送致・告知件数(車両等の違反・点数切符を除く)は341,147件でした。そのうち最も多いのは最高速度違反の81,925件で全体の24.0%を占め、次いで一時停止違反62,175件、駐停車違反33,578件の順でした。

## 保有自動車数は減少に転じる

「交通年鑑」によると、平成20年12月末現在の運転免許保有者数は、前年より42,860人増加して4,487,066人でした。男女別の構成比は、男性が58.1%、女性が41.9%で、その差は年々縮小しています。

「交通関連統計資料集」によると、平成21年3月31日現在の保有自動車数は、前年より10,177台減少して3,909,132台でした。

## ～交通事故相談～

本県では、不幸にして交通事故に遭われた方を対象に、交通事故相談を実施しています。平成20年度の相談件数は4,363件で、前年より328件増加し、1日当たりの相談件数は17.8件でした。被害者・加害者別にみると、3,472件が被害者側からの相談、891件が加害者側からの相談で、約80%が被害者側からのものでした。



おしえてコバトン

# 46 犯罪

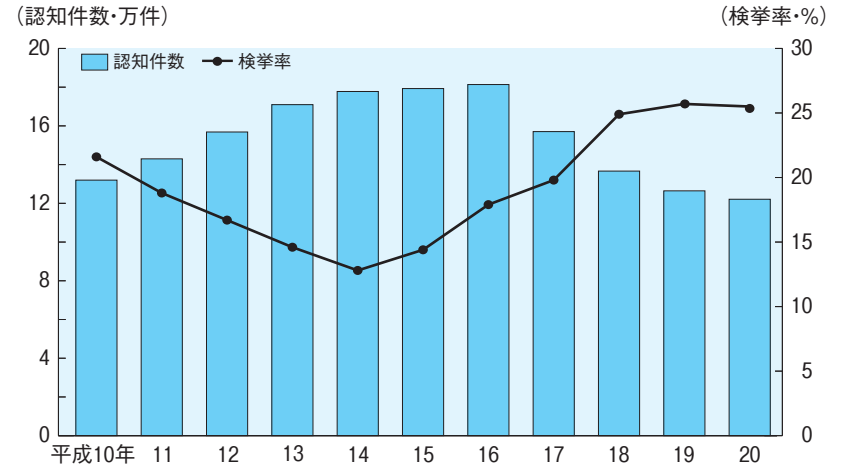
## 刑法犯認知件数と検挙率

単 位	*1 刑法犯認知件数		*2 刑法犯検挙件数		*3 刑法犯検挙人員		*4 刑法犯検挙率	
	件	順位	件	順位	人	順位	%	順位
全 国	1 818 023		573 392		339 752		31.5	
北海道	59 733	9	21 639	9	12 643	9	36.2	29
青森県	11 015	33	4 046	35	2 967	30	36.7	27
岩手県	9 111	39	3 457	40	2 321	36	37.9	23
宮城県	28 583	15	8 382	18	4 949	18	29.3	33
秋田県	6 134	45	3 410	41	1 839	43	55.6	1
山形県	7 924	42	3 630	37	2 445	35	45.8	7
福島県	19 582	22	7 086	24	4 281	21	36.2	30
茨城県	43 885	11	17 476	10	6 590	13	39.8	17
栃木県	28 550	16	9 866	16	5 097	16	34.6	31
群馬県	26 730	18	10 522	14	4 250	22	39.4	19
埼玉県	122 108	4	31 140	6	18 289	4	25.5	45
千葉県	100 827	6	30 608	7	16 046	8	30.4	36
東京都	212 152	1	67 496	1	46 784	1	31.8	35
神奈川県	113 556	5	41 913	2	26 969	3	36.9	25
新潟県	23 435	20	7 755	20	5 800	14	33.1	34
富山県	10 112	36	2 949	47	2 142	38	29.2	39
石川県	9 689	38	3 714	36	2 195	37	38.3	21
福井県	6 740	44	3 245	42	1 696	45	48.1	5
山梨県	7 890	43	2 964	45	1 947	42	37.6	24
長野県	21 105	21	8 893	17	5 005	17	42.1	12
岐阜県	29 799	14	10 018	15	4 375	20	33.6	32
静岡県	42 946	12	14 228	11	8 130	11	33.1	33
愛知県	144 694	3	33 607	5	16 488	7	23.2	46
三重県	25 348	19	6 653	25	3 545	26	26.2	44
滋賀県	15 455	26	6 111	28	2 585	32	39.5	18
京都府	50 259	10	13 220	12	8 412	10	26.3	43
大阪府	201 816	2	39 025	3	28 042	2	19.3	47
兵庫県	97 527	7	26 838	8	17 965	6	27.5	42
奈良県	18 835	23	7 301	22	3 359	27	38.8	20
和歌山県	14 302	28	4 156	34	2 539	34	29.1	40
鳥取県	6 005	46	3 013	43	1 532	46	50.2	4
島根県	5 802	47	3 000	44	1 304	47	51.7	2
岡山県	27 357	17	8 183	19	5 269	15	29.9	37
広島県	30 129	13	12 008	13	7 667	12	39.9	15
山口県	14 000	29	7 111	23	4 151	23	50.8	3
徳島県	8 451	41	3 508	38	2 024	40	41.5	14
香川県	11 425	31	4 965	30	2 843	31	43.5	9
愛媛県	17 829	24	6 568	27	3 764	25	36.8	26
高知県	10 439	34	2 952	46	1 991	41	28.3	41
福岡県	90 356	8	34 398	4	18 125	5	38.1	22
佐賀県	8 683	40	3 460	39	1 810	44	39.8	16
長崎県	10 323	35	4 785	31	3 328	28	46.4	6
熊本県	17 429	25	7 356	21	4 687	19	42.2	11
大分県	9 840	37	4 447	33	2 116	39	45.2	8
宮崎県	11 105	32	4 652	32	2 562	33	41.9	13
鹿児島県	13 655	30	5 002	29	3 012	29	36.6	28
沖縄県	15 353	27	6 636	26	3 872	24	43.2	10

資料出所  
\*1~4「犯罪統計資料」警察庁HP

調査時点又は期間  
平成20年

調査周期  
毎年



資料：「犯罪統計」県警察本部

### 刑法犯認知件数は4年連続で減少

「犯罪統計」によると、平成20年の刑法犯認知件数(道路上の交通事故に係る業務上(重)過失致死傷罪及び危険運転致死傷罪を除く)は、前年より4,345件少ない122,108件で、4年連続の減少となりました。

罪種別では、窃盗犯が93,002件(前年比2,311件減)で全体の76.2%を占め、以下、粗暴犯4,083件、知能犯3,531件、凶悪犯643件、風俗犯599件でした。

### 刑法犯検挙率は25.5%

刑法犯検挙件数は、前年より1,410件減少して31,140件でした。罪種別では、窃盗犯が20,018件で全体の64.3%を占め、以下、粗暴犯2,536件、知能犯1,095件、凶悪犯429件、風俗犯382件でした。

検挙人員は、前年より1,018人減少して18,289人でした。そのうち少年(14~19歳)は、5,439人でした。

検挙率は、前年より0.2ポイント低下して25.5%でした。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数(解決件数を含む)}}{\text{認知件数}} \times 100$$

※表\*4の都道府県値の単位未満の端数処理はせずに順位付けしています。

### ~「日本一安心・安全な埼玉県」をめざして~

本県では、自主防犯活動団体「わがまち防犯隊」の拡大や、事業者との防犯協定締結など県民総ぐるみによる防犯のまちづくりを推進しています。刑法犯認知件数は、平成16年には過去最高となる約18万件でしたが、平成20年には約12万件にまで減少しました。

